

荷姿の物を小起因物とする死亡災害事例（1999-2021年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	業種 (小)	事 故 の 型	労働 者規 模
2021	1	8 ～ 10	最大積載量3 tのアルミバン車を使用し、ドライバーと被災者の2名で配達作業を行っていた。2軒目の配達終了後、被災者が荷台に乗り込み、積荷（化粧板を段ボールで包装した荷（185 cm×93 cm×3 cm、重量19.3 kg）×20口（重量386 kg））が倒れないよう、押さえながら次の配達先まで走行し、到着後にドライバーが荷台のシャッターを開けたところ、積荷と荷台の隙間に倒れている被災者を発見した。	40301	5	100 ～ 299
2021	2	10 ～ 12	バルク車（飼料運搬車）のドライバーが、フレコンバックに入った飼料をバルク車に積み込むため、飼料倉庫に入ったところ、倉庫奥のコンクリート床に倒れている被災者を発見した。被災者は、救急搬送先の医療機関において治療中であったが、後頭部左側打撲による脳障害により同日の夕方に死亡した。	40301	1	10～ 29
2021	5	6 ～ 8	コンテナトレーラの運転手である被災者が、配送先の労働者2名とフォークリフト（最大積載荷重4.5 t）で荷下ろし作業を行っていたところ、荷（太陽光パネルの架台に使用する建材の束。3束約3 t）が崩れ、荷とコンテナの壁の間に挟まれたもの。	40302	5	10～ 29
2021	6	10 ～ 12	被災者が3段に積み重ねられていた金枠（重さ822 kg）の最上段のものを、天井クレーン（2.8 t）で吊り上げて移動させようとしたところ、積み重ねられていた場所付近（高さ約1.7 m）から落下し、被災者が下敷きとなり死亡した。単独作業であり、災害発生時の状況については不明な部分あり。	11002	4	50～ 99

2021	6	8 ~ 10	鉄板の出荷にあたり、被災者Aが天井クレーン（つり上げ荷重5.042 t、吊り具：ハッカー）を操作して鉄板をつり上げ、その鉄板の脇で被災者Bが作業していたところ、何らかの理由で被災者Bが倒れた際に鉄板が被災者らに落下し、被災者Bが死亡し、飛散した鉄板により、被災者Aも重傷した。	80109	4	10~ 29
2021	7	4 ~ 6	郵便局の到着ホームにおいて、4 tトラックの荷室から約500キログラムのコールドロールボックス（以下「CRB」という）を卸す際、事業場の既設油圧リフトを上昇させずに作業を行ったため、CRBが被災者の上半身に被る形で地面に落下し、被災者が下敷きになったもの。	40301	4	10~ 29
2021	9	20 ~ 22	被災者は、天井クレーンでセラミック成形体（縦幅：140 cm、横幅：103 cm、厚さ：18 cm、重量：約0.6 t）をつり上げ移動させていたところ、玉掛け用ワイヤーロープが外れセラミック成形体が被災者に落下し、セラミック成形体と床との間に挟まれた。玉掛けは、セラミック成形体の上部四つ角にゴム製パットを取り付け、当該パットを2本のワイヤーロープ（6 mm×6 m、麻芯）で縛り上げる方法により行われていた。	11403	7	1000 ~ 9999
2021	9	12 ~ 14	被災者は、フレコンバックが入った金属製の格子状のケース（1.8 m×1.8 m×1.8 m）の中に入り、フォークリフトの爪にフレコンバックの紐をかけて、フォークリフトの運転士に合図を行った。合図を受けたフォークリフト運転士が、マストを上昇させ後退していたときに、被災者がケースの端から転落し、頭部を打って負傷した。負傷後、すぐさま病院へ搬送し、治療を行ったが後日死亡した。	11709	1	10~ 29
2021	10	8 ~ 10	被災者が、最大積載量350 kgの貨物自動車の荷台に、段ボールや雑誌等の資源ごみを積み込む作業中、荷台上に積み上げられた資源ごみの上に乗り、資源ごみの高さを均していたところ、バランスを崩して前屈姿勢から前方に約1.7 m墜落したもの。	150103	1	10~ 29
			保冷倉庫の金属製扉を自社製造の新品に交換するため出張作業中、外し			

2021	11	10 ～ 12	た古い扉（3.36m×3.17m×0.13m、重さ約350kg）を積載形トラッククレーンに積もうと、同車のクレーンで吊上げ旋回中、玉掛けロープをかけていた扉部材（ピン止め金具）が外れ、扉が落下した。被災者は玉掛け後、手で扉の揺れを抑えつつ歩行中、落下・接地して倒れてきた扉の下敷きになった。	11209	4	1～9
2020	1	18 ～ 20	被災者の自宅から被災者が帰宅していないと事業場に問い合わせがあり、前日の被災者の就業場所である倉庫を確認したところ、倉庫の奥で倒れたネスティングラックの下敷きになった被災者を発見した。救急通報したが被災者はその場で死亡が確認された。	40301	5	30～ 49
2020	2	8 ～ 10	接岸した貨物船に積まれたコンクリート製板72枚（重さ15トン／枚）を、岸壁の移動式クレーンにて、陸へ降ろす作業を行っていた。船内は、玉掛け者4名、やぐらの解体3名の計7名で当該作業を行っていたところ、積み荷のコンクリート製板が荷崩れを起こし、やぐらの解体作業員2名が下敷きになった。1名はその場で死亡が確認され、もう1名は両足を挟まれ重傷。	50202	5	50～ 99
2020	2	14 ～ 16	被災者は、事業所の倉庫において、白菜の入った段ボールをパレットの上に積み上げる作業をしていたところ、隣のパレット上に6段目の段ボール箱を積もうとした際、5段目のダンボール箱上から墜落し、死亡した。	40301	1	10～ 29
2020	4	10 ～ 12	当該事業場では倉庫内に土嚢（内容物は培養土／重量1020kg、高さ80cm）を2段積みで保管していた。11：50頃、被災者がフォークリフトによるはい崩し作業を行っていたところ下段の土嚢を破ってしまい内容物が流出したもの。被災者は破れ目をガムテープで養生した後床面にこぼれ出た内容物を清掃していたところ、上段の土嚢が落下し下敷きとなり窒息、死亡したもの。	60101	5	10～ 29
		4	被災者が運転するバルク車（飼料運搬車）がライトが点灯したまま倉庫の出荷口で停車していたため、同僚が被災者を探したところ、バルク車運転席で右耳から血を流して横たわっている被災者を発見した。被災者			

2020	5	～	6	は搬送先の病院で死亡が確認された。倉庫内では、フレコンバックが鉛直方向に4段積まれた上にフォークリフトのアタッチメント（フレコンバックを吊り上げるため制作されたもの）の先端が置かれた状態だった。	40301	1	50～ 99
2020	7	～	14 16	大麦等が入ったフレコンバック（1袋の重量1t）が保管されている、支所の低温倉庫内において、同僚が運転するフォークリフトを使用して床に置いてあったフレコンバック一袋を移動させ、被災者が次の作業のため隣に置いてある一袋のフレコンバック上でフォークリフトを待っていたところ、被災者の背後にあった4段積みフレコンバックが倒れ、下敷きになったもの。	170209	5	1～9
2020	9	～	8 10	集積されていた使用済み空きドラム缶を金属廃棄物入れに加工するため、アセチレンガスを用いて、ガス溶断を行おうとしたところ、密閉された缶内に充満していた可燃性気体に引火し、当該ドラム缶が爆発し宙空に飛びあがり、その際に被災者の顔面に激突したもの。	11701	14	1～9
2020	9	～	12 14	重さ246トンの船底ブロックに機器類を積載した総重量約320トンの荷を、塔形ジブクレーン2基の相吊りによって地上から約15メートルの高さまで吊り上げた際、当該ブロック上に積載していた重さ約800キログラムの金属製の水コシ器1基がブロックの側面から落下し、地上に置かれていた船舶用発電機への動力供給用配管の付近にて、関係者へ当該配管の耐圧試験方法を説明していた被災労働者に当たったもの。	11501	4	300 ～ 499
2020	9	～	8 10	工場建設現場において、小型ボイラーをハンドリフトに乗せて搬入作業中、搬入路上の段差を乗り越えるため、スピードローラー（ころ）に乗せ換えていたところ、当該小型ボイラーが転倒し、被災者に激突した。	30302	6	10～ 29
2020	10	～	20 22	10トン車より冷蔵商品を配送していた被災者が、災害発生場所において、その配送車からフォークリフトを用いて荷下ろし作業をする際に、その積み荷を被災者が手前に引き出したところ、勢いあまり積み荷が被災者側に傾き、被災者の頭上から激突し被災したもの。	40301	6	50～ 99

2020	12	18	被災者は、容器に入れた鶏糞をフォークリフトで運搬する作業を行って	70101	4	10～ 29
		20	いたところ、鶏糞を運搬する鉄製の容器の下敷きになって死亡したも の。			
2020	12	12	地上からの高さが110cmのトラッククレーンの荷台上で、資材倉庫	80109	6	10～ 29
		14	2階から投下された重さ約16キログラムの断熱材を荷台上に並べる作 業を行っていたところ、投下された断熱材が荷台上で跳ね上がって被災 者に激突し、被災者が荷台上から墜落し、頭部を地面に強打したもの。			
2019	1	10	被災者が、アパート建築現場の壁材・天井材として用いる石膏ボード	30209	5	10～ 29
		12	を、事業場自社工場においてパネルソーで裁断し、集積して積み上げる 作業を行っていたところ、作業場所の近接箇所に積み上げてあった石膏 ボード（高さ推定3メートル以上）が崩壊してその下敷きとなり、脳挫 傷等により死亡した。			
2019	1	16	支店内にて作業請負を行っている被災者が倉庫内にて粉末が入っている	50101	5	1～9
		18	500キログラムのフレコンバックの積み替え作業を1人で行っていた ところ、4段に積まれた最上部フレコンバックとその隣の3段に積まれ た最上部のフレコンバックが荷崩れし、被災者が一方のフレコンバック の下敷きになり、窒息により死亡した。			
2019	2	14	工場敷地内の原料保管庫において、フォークリフトを使用して、コンテ ナに入っている小豆を、別のコンテナに移し替える作業を行う際に、移 し替える先のコンテナ上に上っていた被災者がコンテナ内に転落し、コ ンテナに入っていた小豆が被災者上に落ちてきて小豆に埋まったもの。	11709	1	50～ 99
		16	移し替える先のコンテナ上に、フォークリフトのフォークを刺したまま で小豆が入っているコンテナを半分程度ずらして乗せた状態であった。			
2019	2	14	運搬してきた電柱14本を営業所敷地内の資材置場に降ろすために、台	30301	4	50～ 99
		16	付けワイヤーを緩めたところ、2本の電柱が落下して被災者に激突し た。			
			自社の資材センター内で、型枠工事に使用する単管パイプ（直径：4. 6cm、長さ：3.5m）が積み上げられた高さ2メートルを超える場			

2019	4	14 ～ 16	所において、数十本ごとにチェーンで結束された単管を、チェーンを外さずに一本ずつ引き抜き、上から下へおろしていた際に、被災者が自重で傾いた単管に押し上げられ、墜落したもの。保護帽、墜落制止用器具の着用なし。災害発生後7日後に被災者は様態が急変し死亡に至った。	30209	1	10～ 29
2019	5	6 ～ 8	パレットに積まれた凍結された10段積み飼料の上にフォークリフトで更に2段を積み上げて12段積みにする作業の際、10段積み飼料の上(床面からの高さ171cm)に乗っていた被災者(保護帽なし)が墜落したのち心肺停止状態となり、その後、搬送先で自立呼吸ができなくなったのち死亡が確認された	80109	1	100 ～ 299
2019	6	18 ～ 20	被災者は納品のため、トラック荷室からテールゲートリフター(以下、「リフター」という。)を使用し、飲料水等の商品が入ったロールボックスパレット(以下、「かご車」という。)を荷卸ししていた。被災者は、かご車2台を荷室からリフターの昇降板で、地上に卸していたところ、昇降板が接地する直前に、かご車が転倒し、その下敷きとなったもの。	40301	6	100 ～ 299
2019	7	14 ～ 16	被災者は、荷降ろしのためトラックの荷台に乗り、荷が積まれたカゴ台車をつかんで後ずさりしながら荷台の後方に移動した後、カゴ台車の端を掴んだまま、後方で停車させていたフォークリフトの爪の上に乗ったところ、カゴ台車が倒れ、カゴ台車の上部とフォークリフトのバックレストとの間に頭部から頸部を挟まれたもの。心肺停止で救急搬送され、心拍を一旦取り戻すも、3日後に死亡したもの。	40302	7	10～ 29
2019	7	20 ～ 22	被災者は、PET製造工場において、つり上げ荷重1tの床上操作式天井クレーンを運転して、フレコンバッグに入った約800kgのPET製品の不良品を破碎したものをつり荷として原料ホッパーまで運搬して投入しようとしたところ、フレコンバッグのつり具に掛けるつり紐部分4本のうち2本が突然切れたため、落下した荷とホッパーの間に頸部を挟まれたもの。	10805	4	50～ 99

2019	7	8 ～ 10	トラックに積まれていた砂（約0.9トン）が入っているフレキシブルコンテナ（フレコン）を移動式クレーンにより移動させようとしたところ、フレキシブルコンテナのつりベルトが切断し落下、下方にいた被災者がフレキシブルコンテナの下敷きになり死亡したものの。	30201	4	30～ 49
2019	7	8 ～ 10	客先の牧場において、被災者と同僚の合計2名で、トレーラーのコンテナから牧草の荷卸し作業を行っていた。直方体（88cm×125cm×130cm、重さ500kg）で2段積みされていた下段の牧草にワイヤロープが付いたフックを打ち込み、フォークリフトでワイヤロープを引っ張って引き出していたところ、崩れそうになった上段の牧草を被災者が支えようと近づいた際、うつ伏せに転倒し、その上に牧草が落下したものの。	40301	5	50～ 99
2019	8	14 ～ 16	伐倒作業を終了し、伐倒した木と掘り起こした木の根を搬出するため、グラップルを運転して木の根をトラックの側面から荷台に積み上げていたところ、重さ約180kgの木の間が約3mの高さから、積込作業箇所反対側に転がり落ちた。その際、トラックの横を歩いていた作業員の背部に木の根が激突し、死亡したものの。	30209	4	1～9
2019	9	8 ～ 10	自社資材センター内に長さ2.7mの単管パイプ100本（約700kg）を金属枠で束ねたものが10束積みされていた。被災者は単管の塗装作業を行うためにフォークリフトを運転して単管パイプの束を移動させていたが、単管パイプの束の下敷きになって倒れているところを発見された。	30201	5	10～ 29
2019	9	14 ～ 16	1人でフォークリフトを使用して、玄米1080kgの入ったパレット積みのフレキシブルコンテナの積み替え作業を行っていた被災者が、2段積みのフレキシブルコンテナの上段が落下し、下敷きになっているところを同僚に発見されたもの。落下したフレキシブルコンテナの下段のフレキシブルコンテナには穴が開いており、周辺には玄米が散乱し、近くにはガムテープがあった。	10109	4	100 ～ 299
			クレー射撃場新設工事において、現場の地盤改良等のために埋設して			

2019	10	14 ～ 16	あった土留めシートパイル（幅450mm、長さ6100mm、390kg）を引き抜き10枚重ねたものを25トンラフターを用い、トラックに荷積みしていたところ、荷積み位置を調整していた被災者が荷台より飛び降り、直後に落下してきたシートパイルの下敷きとなったもの。	40301	5	30～ 49
2019	10	10 ～ 12	災害発生地である事業場に所属する労働者がフォークリフトを用いて荷の積み替え作業を行っていたところ、荷の一つがバランスを崩し倒れそうになった。被災者はその荷を支えようとしたが支えきれず、荷の下敷きになり死亡したもの。	40301	4	30～ 49
2019	11	10 ～ 12	工場新築工事での鉄骨建方作業において、壁の鉄骨（長さ約11mの柱1本に長さ約6mの胴縁14本等を取付。）を地組し、その上に番線で束ねた壁材（折板。長さ7m、幅0.8m、18枚。計約540kg。）を置いていた。これをクローラークレーン2台で共吊りして立て起こし、被災者が地上側の玉掛シャックルを外したところ、鉄骨に固定されていなかった壁材が落下、被災者はその下敷きになった。	30209	4	1～9
2019	11	6 ～ 8	配送先の事業場構内において、トラックの荷台内部で積荷である大理石の机の天板（重さ約80kg）2枚の下敷きになっている被災者が発見されたもの。	40301	5	10～ 29
2019	12	14 ～ 16	廃プラの圧縮梱包機の上部投入口付近にて、フォークリフトでフレコンを載せたパレットを上昇させ、被災者がフレコンを押し出して投入口に入れたところフレコンが詰まってしまったため、カッターを使用してフレコンの一部を開け、フレコンを足で押し込んでいた際に、何らかの事由によりフレコンとともに下部まで墜落し、自動運転となっていた圧縮シリンダーが起動して圧縮する部分と機械内壁との間に身体を挟まれ死亡した。	80109	1	10～ 29
2019	12	12 ～ 14	天井クレーン（2.8t）を操作して船体部品であるハッチコーミングを2本の盤木を敷いて台車に乗せたあと、被災者が玉掛用具を外したところ、ハッチコーミングが倒れ下敷きになった。	11501	5	10～ 29
			4段に積み上げられたパレット積みの荷をフォークリフトで移動させよ			

2018	1	12 ～ 13	うとしたところ、3段目と4段目の荷が崩壊、被災者はフォークリフト運転席より離脱しようとして4段目の荷（エアコン室内機30箱）の下敷きとなり死亡したものの。	50101	5	30～ 49
2018	2	8 ～ 9	被災者は、鉄骨柱、鉄骨梁約9トンを積み込んだトラックを運転し建設現場に搬入。当該鉄骨の荷下ろしは現場職員が行い、被災者はトラック付近で当該荷下ろし作業を見ていたところ、積荷の鉄骨梁が荷台から落ちて被災者に当たった。	40301	4	50～ 99
2018	2	8 ～ 9	シーツスタッカーと呼ばれる機械（約400kg）をフォークリフトで運搬し、トラックの荷台に載せる作業で、フォークリフトで同機械を持ち上げる途中にバランスを崩した同機械が落下し、付近にいた被災者がその下敷きになって死亡したものの。	11301	4	1～9
2018	2	4 ～ 5	被災者は、D型ハウス内に保管されていた牧草ロールのはい崩し及びトラックへの積み込み作業に従事していたところ、牧草ロール1個（重量約350kg、直径1.6m×幅1.2mの円柱型）に仰向けで下敷きになった状態で、牧場代表者に発見されたもの。牧草ロールは3列分（3～4段、33個分）が倒壊していた。	80109	5	1～9
2018	3	12 ～ 13	高さ約3mで3段積みとしていたフレコンバック（シリカ粉入り）が荷崩れを起こし、被災者は約640kgの3段目のフレコンバックの下敷きとなり、圧死したものの。災害の現認者はおらず、1段目のフレコンバックが破れシリカ粉が散乱しガムテープが残っていたことから、被災者は1段目のフレコンバックが破れをガムテープにて補修していたものと思われる。	10801	5	300 ～
2018	4	16 ～ 17	被災者はコンクリート製品製造工場の製品置き場において、吊り上げ荷重2.93トンの車両積載型トラッククレーンをリモコンで操作し、コンクリート製品の荷台への荷積み作業を行っていたが、作業中、当該クレーンのジブが積み込む対象とは別のコンクリート製品（いわゆるU字溝）に衝突したのか、4段に積まれた製品の最上段の製品が落下し、下	40301	4	10～ 29

			でクレーンを操作していた被災者に激突したものと推定される。			
2018	4	14 ～ 15	古紙の保管場所において、巡視中の代表者が、2列4段の高さ（床面から約3.6m）に積み上げられた8個の古紙の塊について、列間に隙間を認め、倒壊の危険を感じ、塊を掴むアタッチメントを装備したフォークリフトを運転し、地上から2段目以上の合計6個の塊を列の隙間がなくなるように整えた。代表者がフォークリフトから降りた直後、西側1列の上部3個の塊が崩れ落ち、付近で清掃作業中の被災者に激突した。	10601	5	10～ 29
2018	7	0 ～ 1	配送員2名が災害発生現場に停車していた他者が所有する4tトラックの荷台の中で、当該事業場のトラック運転手が仰向でユニットバスのパネル等に押し倒される形で挟まれているのを発見した。緊急搬送されたものの、担当医より「急性心不全」により死亡が確認されたもの。	40301	7	1～9
2018	7	8 ～ 9	被災者は、工場内で建築用鉄骨（H250×250長さ4.9m）7本を玉掛けし橋形クレーンにて移動した。当該鉄骨を作業台に降ろしたところ、当該鉄骨が被災者側へ倒れ、作業台の梁と鉄骨に腹部を挟まれ死亡した。	11209	5	1～9
2018	7	8 ～ 9	埠頭に接岸した船倉で、岸壁に設置したクローラクレーン（つり上げ荷重150t）を用いて7本組にしたH型钢（1本の長さ6m、重さ85キロ）を3束にまとめて荷揚げ作業中、吊上げていた鋼材が落下し、吊荷の下にいた被災者に当たり死亡した。	50201	4	100 ～ 299
2018	8	12 ～ 13	新築工事（旅館）の資材を波止場に置いてあったコンテナより荷さばき中（トラックへ運ぶ）に、資材の扉5枚が被災者に倒れてきたもの。	30201	5	10～ 29
2018	9	2 ～ 3	鉄骨造地下1階、地上8階建てビル新築工事現場において、トラックの荷台で外壁材（外壁パネル、長さ4.3m×幅0.7～0.9m×厚さ0.06m）を7枚玉掛けし、移動式クレーンで約15m吊り上げ、旋回していたところ、吊り荷の下4枚の外壁材が割れ、ケヤキの木に落下し、落下位置から約6m離れた被災者に飛散した破片が当たり、頭、顔から出血した状態で倒れている被災者を発見した。	30201	4	1～9

2018	9	6 ～ 7	古紙を圧縮したブロック（1 m角、重さ540 kg）の集積場所で、3段に積み上げたブロックが倒れ、近くで掃除作業を行っていた被災者が下敷きとなったもの。当該ブロックの3段目は直前にフォークリフトで積まれたものであった。	150102	5	10～ 29
2018	11	14 ～ 15	電柱の撤去作業中、電柱を2つに切断した後でそのうちの1方を建柱車の移動式クレーン機能を使って引き寄せる作業を行っていた。田の畔を乗り越えさせようとしたが、電柱が畔に引っ掛かってしまい、ショウレン（鋼鉄製の棒状の道具）を使って電柱の向きを変えようとした際に、被災者がバランスを崩して畔から深さ60センチメートルの水路に落下したところへ、移動させていた電柱が落下したため下敷きとなった。	30301	4	10～ 29
2018	12	21 ～ 22	被災者は、フォークリフトを用いて屋外に置かれていた、ペレット原料の運搬作業に従事していた。製造作業場所に戻ってこなかったため、同僚が探したところ、ペレットの入っていたフレコンバック（約1トン）の下敷きになっていたところを発見されたもの。	10805	5	10～ 29
2018	12	10 ～ 11	社長が車両積載型トラッククレーンを操作し産業廃棄物のコンテナを吊り上げて移動させた後、被災者は社長の指示により玉掛けフックを付け替えようと梯子を移動させていたところ、そのコンテナが倒壊し下敷きになったもの。	150102	5	1～9
2017	1	10 ～ 11	配送先で、運搬してきた積荷のロール紙（約600 kg×2本）をトラック荷台から降ろしていたが、2本目を降ろそうと回転台に載せ90度回転させていたところ、ロール紙が転がり落ちかけていたため、被災者が自ら支えようとしてロール紙の下敷きになった。	40301	4	30～ 49
2017	2	16 ～ 17	被災者は同僚と2人で重量約2 tの板ガラス専用パレットを天井クレーンで4 tトラックに積み込み作業中、トラック荷台中央部のパレット固定用スタンションに沿わせて、スリングベルトのアイをスタンションのT型固定部に引っかけて固定し、玉掛け用スリングベルトを外したところ、T型固定部の溶接部が破断してパレットが被災者の方に倒れ、被災者はパレット共荷台から墜落し、地面とパレットの間に頭を挟まれ、死	80209	5	30～ 49

			亡した。			
2017	2	10 ～ 11	被災者を含む3人で、L字型コンクリート製品（重量約7.2t）の外壁材を工場内に展示するための運搬作業を行っていた。橋形クレーン（10t）で製品を展示するための場所まで移動させ、地上に降ろし、同僚が脚立梯子を使い上部に掛けられた玉掛用具を外した後、製品が倒れ脚立梯子を下で支えていた被災者は橋形クレーンのサドルと製品に頭部を挟まれ死亡した。	10901	5	50～ 99
2017	3	10 ～ 11	解体工事現場において、4tトラック2台の各荷台の後部を近接させ、荷台上で積み込んだ解体ガラを整理している際、転落した。なお、被災者は、保護帽は着用していた。	30202	1	1～9
2017	7	10 ～ 11	推定2.8tの床上操作式クレーンを用いて、鉄板（長さ2495m、幅180mm、厚さ2.3mm）41枚を、ベルトスリング1本で高さ約1.5mの位置につり上げ走行させていた。クレーン走行中に鉄板が荷崩れを始め、荷を押さえていた被災者の顔にベルトスリングから外れた鉄板が激突し、飛ばされてコンクリート製地面に転倒した。	11209	4	10～ 29
2017	8	12 ～ 13	工場の敷地内で、建設工事の基礎に使用されるコンクリートパイプ（直径0.5m×長さ13m、重量約3.5トン）をトラックの荷台に載せる作業をしていた。5本目のパイプを荷台に載せ、パイプに掛けられたワイヤロープをパイプから外し、クレーンのオペレータに合図をし、クレーンの巻き上げ及び走行が行われたが、ワイヤロープがパイプの先端の金具に引っ掛かり、落下したためパイプと地面の間に挟まれた。	40301	4	1～9
2017	8	20 ～ 21	倉庫内に4段に積んでいたフレコンバッグ（米が入ったもの。重さ約1トン。高さ約1.1メートル。）の一部に崩れる気配があったため、被災者がはい替えを行うためにフォークリフトを運転して手前のフレコンバッグを移動させようとしたところ、フレコンバッグが崩れ出し、それに気付いた被災者はフォークリフトから降り避難しようとしたが、その方向にフレコンバッグが崩れ、被災者はフレコンバッグの下敷きとなった。	170209	5	10～ 29

2017	9	16 ~ 17	ボール盤（高さ236センチメートル、重さ850kg）の移設ため、3個のチルローラー（35×23センチメートル、耐荷重3t、ボール盤前方1箇所、後方2箇所）に載せ、4名の労働者で押して移動させていたところ、ボール盤が突然転倒し、被災者の頭部に激突した。被災者はボール盤の下敷きにはなっておらず、救急搬送されたが、頭部を強く打ったため死亡した。	30302	6	100 ~ 299
2017	11	16 ~ 17	トラックに鋳鉄管11本（1本約150kg）をフォークリフトを用いて荷積み作業中、フォークリフトの爪を引き抜こうとした際、鋳鉄管がその反動で動き出し、横で見ていたトラックの運転手（被災者）が落下を食い止めるため、手で荷台上に鋳鉄管を戻し、被災者がリフトマンにOKの合図を出し、リフトマンがフォークリフトの爪を引き抜き後進させていたところ、鋳鉄管が被災者の上に落下した。	40301	5	10~ 29
2017	12	18 ~ 19	被災者は、顧客先でフォークリフトの修理を行った後に引き続き点検を実施していた。右後輪の駆動部分にグリスアップを行っていたところ、被災者の後方に2段積みで置かれていた荷のうち、上段の1個（W=1.2m、D=0.8m、H=1.4m、重量1トン）が落下し、被災者を直撃した。	80202	4	1~9
2017	12	16 ~ 17	現場から持ち帰った資材をユニックの荷台から荷降ろしをしていた。荷台には角材の上に単管パイプの束を載せて全体を2か所で番線固定してあった。被災者が2か所目の番線を切断したところ上部にあった単管パイプの束（20本約270キログラム）が荷崩れを起こした。被災者は頭部外傷により死亡した。	40301	5	1~9
2017	12	12 ~ 13	荷主先でトラック（ウイング車）に荷を積み込む作業を被災者一人で行っていたところ、すでに積んでいた荷（700kg弱）が、何らかの原因によりロールボックスパレットごとトラックの荷台から落下し、落下した荷の下敷きになったものと推定される。	40301	4	30~ 49
			取引先が所有する資材置場においてトラックで搬送した荷の荷下ろしはい付けを行っていた際、当日以前にはい付けしてあったはいの4段目手			

2016	1	8 ～ 9	前側へ同種の荷（鋼製単管を結束して束にしたもの、一束約250kg）を追加はい付けし、次に隣へ同様に各段2束ずつ合計4段のはいを1段目から積もうとしていたところ、はいが荷崩れし、崩れてきた荷とトラックの間にいた作業者がその間に挟まれて胸部を圧迫され被災した。	30209	5	1～9
2016	1	11 ～ 12	被災者は、工場の古紙保管ヤード内において、古紙ベール（古紙を圧縮した直方体で塊。番線結束。）258個のはい崩しに従事。古紙2個がフォークリフトによりはいから抜き取られ、その後に、パレットの片づけ作業で被災者がはいに近づいた時、当該はいの2段目から4段目までの計11個の古紙が崩壊し、被災者がその下敷きになった。	10601	5	50～ 99
2016	1	7 ～ 8	トラックに積載していた荷物を下ろすため左側ウイング扉を開け、更に前方あおりを開けようとした際、荷台上のロールボックス1個（内容量約600kg）が落下し、被災者の頭部等に直撃した。	40301	4	100 ～ 299
2016	2	9 ～ 10	空のフレコンバッグの仕分けをする作業場で、フォークリフト運転者が空のフレコンバッグが入ったコンテナ（約110kg）5個を積み上げて仮置きした後、上4個を後方に運ぼうとフォークリフトで持ち上げたところ、コンテナがバランスを崩してフォークリフト前方に倒れ、仕分け作業を行っていた被災者の頭上にコンテナが落下した。	50101	5	10～ 29
2016	2	15 ～ 16	マンションの機械式立体駐車場解体現場において、解体した部材を移動式クレーン（つり上げ荷重10t）でつり上げたところ、既存鉄骨梁に引っ掛かりつり上げることが出来なくなったため、被災者が鉄骨梁上に行きバールにてつり荷を引き離したところ、つり荷が振れて被災者に当たり、約5m下の地面に墜落した。	30209	6	1～9
2016	2	2 ～ 3	トラック運転者である被災者は、運転途上に休息をとる目的で午後10時30分からガソリンスタンドで停車をしていた。翌日の午前9時にガソリンスタンド店員がトラックの状況を見に行ったところ、トラック後部扉の左側が開いており、トラック荷台内部に立てかけられた荷と仕切り板が斜めに傾き、被災者がそれらの間に挟まれ、死亡した状態で発見	40301	5	50～ 99

			された。			
2016	4	21 ～ 22	ペットボトルの材料（PET）の入ったフレコンバック（1袋1050kg）を工場内に2段積で保管していたが、上段のフレコンバックが落下し、その下にいた労働者に激突した。	10106	5	10～ 29
2016	4	7 ～ 8	車両系建設機械のバケットを小型移動式クレーンを用いて、当該移動式クレーンの荷台へ積込む作業を行っていた。バケット側のアタッチメント接続用のピンホールへ単管を通し、当該単管にフックを掛けてつり上げ、地切りした際に、重心が移動し、バケットが被災者側に回転、被災者の足下がすくわれると同時に単管からフックが外れたため、荷とともに被災者が用水路へ転落し、法面と当該バケットの間にはさまれた。	70101	6	1～9
2016	5	6 ～ 7	被災者は、県外の荷の配送先である敷地内にて、ウイングボディのウイングが開いた状態でトラック荷台側面から崩れた荷（梱包された住宅用資材で棒状及び板状のもの。重量は計約630[kg]。）の下敷きになっているところを発見された。	40301	5	10～ 29
2016	5	15 ～ 16	被災者が荷（ボード480枚；1.23×2.16×0.015m）を1山60枚（重量約1.5トン）ずつに束ね、1列を4山の上下2段積みで荷台に積み、県外の配送先に10tトラックで配送した際、荷を下ろすため、トラック左後方部で左側ウイングの開放操作をしていたところ、積み重ねていた荷が荷崩れを起こしていたため、その荷重で突然あおりが外れ、そのあおりが被災者に激突した。	40301	5	10～ 29
2016	6	15 ～ 16	被災者が事業場倉庫内で、ガラスが積載された鉄製パレット（重量：ガラス633kgパレット100kg計733kg。パレット寸法：縦1.9m横2.9m幅0.65m）が倒れ、作業台との間に挟まれ被災した。	80209	5	1～9
2016	8	9 ～	被災者が一人でスリットコイル（幅：30～125mm、直径：1050～1200mm、コイル数：10個、全重量：3610kg）の結束作業中、コイル転倒防止ポールを作業位置の後方に移動させ、スリットコイルと転倒防止ポールの間で、下部の結束バンドを締め付ける作業を	11209	5	30～

		10	行っていたところ、スリットコイルの6～7個が被災者側に転倒し、被災者はスリットコイルと転倒防止ポールに挟まれ、胸部を圧迫されて死亡した。			49
2016	9	17 ～ 18	廃材置き場において、地盤を補強するため地面にコンクリートを敷く作業を行っていたところ、近くに積み重ねてあった廃材プラスチックの塊（縦約1.4m、横約1m、高さ約1.3m、重さ約350kg）が崩壊し、被災者と接触した。	150103	5	10～ 29
2016	10	11 ～ 12	国道の改良に伴うずい道新設工事。工事の支障となる廃線となった鉄道のずい道（新設ずい道と坑口が隣接）を閉塞する作業を行っていた。坑口に木製型枠を組立て、大型土嚢（5段：2列～3列）を置き、ずい道内部にコンクリートを流し込んでいたところ、ずい道の縁と型枠の隙間からコンクリートが漏れ出てきたため、大型土嚢の上で隙間に布等を詰めていた時、型枠とともに大型土嚢が崩壊し、墜落した際大型土嚢の下敷きとなった。	30102	5	10～ 29
2016	11	23 ～ 24	フォークリフトのフォーク若しくはパレットの角で2段積みになっていたフレコンバッグ（重量1トン）の1段目フレコンバッグの側面に傷をつけてしまい、その傷が破れて粉状の内容物（シリカサンド：酸化ケイ素）が流出したため、補修作業を行っていたところ、2段目のフレコンバッグが崩壊し、被災者が下敷きになり死亡した。	10909	5	100 ～ 299
2016	12	10 ～ 11	牧場の拡張工事の一環として給餌場を新設するにあたり、その建築材料として新牧場まで、トラックにより単管7本の運搬作業を行っていた。新牧場にて荷を下ろす際、積荷を固定していたロープを外し、被災者が荷台に上り積み荷を降ろそうとした際に積荷が崩壊、積荷すべてとともに被災者が荷台左側面から墜落した。墜落時に積荷により腹部が圧迫された結果、臍臓が損傷し死亡した。	10101	5	1～9
		15	被災者を含む作業員5名（運輸会社の労働者1名と合同会社の労働者4名）はフォークリフトを使用し、鉄板の移動作業をしていた。被災者			

2015	5	～ 16	は、フォークリフトが抱えた鉄板を下す場所（床面）に、当該鉄板を支えるためのりん木を並べ、りん木の位置を調整をしていたところ、被災者の後方にある扉に立て掛けられていた重さ約1 tのバーインコイルが被災者の上に倒れ、下敷きとなったもの。	50101	5	30～ 49
2015	11	11 ～ 12	水産加工会社の冷凍倉庫脇において、トラック（11 t、箱荷台）に被災者と水産加工会社の労働者2名で冷凍サバの荷積み中、被災者が荷である冷凍サバのブロックで足を滑らせトラック荷台後部（高さ約1.6 m）から墜落し、頸椎骨折により死亡したもの。	40301	1	1～9
2015	1	13 ～ 14	サイドフォークリフトを使用して鋼管製はしご（足場部材）の束を運搬中、はしごの束が崩れ、被災者に激突した。	11501	5	1～9
2015	1	5 ～ 6	トラック運転者の被災者は、目的地に到着後、同社従業員Aの協力を得て、荷下ろし作業を開始した。トラック荷台には、銅板の束（長さ5 m、幅26 cm、厚み10 cm、重量0.5 t）がタテ4段（高さ60 cm）に積まれていた。Aがフォークリフトを使って銅板の束を運搬していた際に、荷台上の銅板の束が荷崩れを起こし、地上へ落下。銅板2束（約1トン）が荷台そばに立っていた被災者に激突したもの。	40301	4	10～ 29
2015	11	17 ～ 18	資材置場において、足場の横材60本を番線でくくった束をフォークリフトを使用して9段（高さ約3メートル）に積み上げた後、被災者が当該足場材の束を背にしてフォークリフトの誘導を行っていた。そうしたところ、足場材の束の山が崩れ、被災者の背中、尻、足が挟まれたことにより、全身多発骨折によって死亡したもの。足場材の束の山が崩れたのは、積み上げ後約5分経過した時点であった。	30309	5	1～9
2015	1	14 ～ 15	ごみ処理施設建設工事現場のエネルギー回収推進施設の3階にある電気関係の主幹制御室に台車に載せた制御盤（高さ2.35 m×幅1.2 m×奥行0.8 m、重量350 kg）を労働者4名で台車から降ろす作業中、制御盤が転倒してその下敷きとなった。	30302	6	10～ 29
			製品である圧縮した古紙の塊（大きさ1 m×1 m×2 m、重量：約1			

2015	11	14 ～ 15	t) 48個を搬出前に工場内で6段に積み上げて保管していたが、被災者が工場床の清掃作業をしている際にこれが崩壊し、その下敷きとなったもの。	80109	5	10～ 29
2015	3	7 ～ 8	被災者は、同僚の労働者1名と共に倉庫内において、飼料が入ったフレコンバッグ（直径約1m、高さ約0.7m、重量0.5トン）が5段3列に積み上げられている（奥行き、高さともに約3.2m）の横で空き袋の整理作業をしていたところ、同僚が整理作業に使用していたフォークリフトの爪が2段目中央のフレコンに当たって破損し、飼料が漏れ始め、その数分後、上部等にある9個のフレコンが崩壊して被災者が下敷きになったもの。	40301	5	100 ～ 299
2015	6	14 ～ 15	倉庫内において天井クレーンを使用して平鋼の束（幅26cm、高さ17.1cm、長さ5.5m、重量約1.9t）の移動作業を行っていたところ、5段に積み上げた平鋼の束の上から3段分が玉掛けワイヤーを外す作業を行った後、移動していた被災者の方に崩れてきて、被災者が崩れた平鋼の束に挟まれたもの。	50101	5	1～9
2015	9	11 ～ 12	9月28日午前11時15分頃、パルプ工場の古紙ヤード内に2段に積み上げられていた古紙ベールの集まりを、専用フォークリフトを使用して1個ずつ工場内に移動させていたところ、2段積み状態の古紙ベールが荷崩れし、上段の古紙ベールが被災者の頭部を圧迫したことにより死亡したと推定される。古紙ベール1個の形状は、直方体（横100cm×縦180cm、高さ109cm、重さ1,140kg）	170209	5	10～ 29
2015	12	13 ～ 14	荷待ちしていた被災者は、他車の荷台に積込中の巻取紙を固定するゴム製の歯止めが滑るのに気づき、同車の運転手とともに、荷台に背を向けて歯止めをコンクリート地面に擦り付けていた。このとき巻取紙は、別の歯止め1個と梃子棒で固定されていたが、何らかの理由で巻取紙が荷台から転がり落ち、被災者の背中から腰の辺りに当たったもの。巻取紙の重量は約800kg、荷台の高さは約1.4mであった。	40301	4	10～ 29

2015	7	8 9	船体ブロック製造工場において、Aは材料置場におかれた荷（1枚の鋼板の上に約110枚の鋼板を重ねて乗せたもの）を、つりチェーンで玉掛けし、Bはジブクレーンで当該荷を運搬する作業を行っていた。Bが荷をつり上げ、クレーンを走行させて運搬し、クレーンのジブを左方向に旋回させながら荷を降下させた時、荷が高さ約11mの位置から落下、下方で荷の受入のため待機していた被災者Cの背部に鋼板が直撃し被災したものの。	11501	4	1～9
2015	4	8 9	オペレーターが22.5トン重機（アタッチメント：つかみ機）を使用し、バッキン内の金属製産業廃棄物を潰していたが、潰し作業が終了し、別の金属製産業廃棄物が入ったフレコンバックをつかむために、アームを上昇させ旋回しようとしたところ、バッキンがアタッチメントにはまったまま持ち上がった。この時、旋回範囲内で別のバッキンの金属製産業廃棄物を手作業で選別していた被災者の上にバッキンが落下し下敷きとなったもの。	11009	4	1～9
2015	3	7 8	公道において、トラックで運搬してきたコールドロールボックスの荷卸し作業を行っていた際に、1台のコールドロールボックスをトラックの荷台からテールゲートの上へ移動させ、リモコン操作でテールゲートを下降させたところ、コールドロールボックスのキャスターのうち1輪が荷台の上に乗ったままの状態であったため、コールドロールボックスが傾いて倒れ、被災者がその下敷きになった。	40301	4	10～ 29
2014	1	10 11	堆肥小屋にて、被災者は、頭部を負傷した状態で座り込んでいるところを発見された。尚、発生時の状況については目撃者がいないため不明。	140302	1	50～ 99
2014	1	16 17	建築工事現場にて、建築資材の配達のため、同僚とトラックの荷台から石膏ボードを下ろす作業中、荷台上の石膏ボードが崩れて落下し、その下敷きとなった。	80209	4	10～ 29
		10	被災者は、車載型小型移動式クレーンを使用し、発注のあったサイディングボードを現場に下す作業を1人で行っていたが、荷の下敷きになっ			

2014	2	～	ているところを通行人に発見された。荷台上の荷の下部のパレットの内	80102	4	10～
		11	側に単管2本を通し、アイ付繊維スリング2本を玉掛し、無線操作装置			29
			を使用してつり上げた際、荷が被災者に落下し、死亡したと思われる。			
2014	3	6	被災者は、木製の角材（長さ4m×縦10.5cm×横3cm）の束を	40301	5	10～
		～	積んだトラックで、荷主の事業場を出発した。翌朝、配送先近くの県道			29
		7	脇で、ウイングの上がったトラックの荷台から崩れ落ちた角材の下敷き			
			となっている被災者が発見された。			
2014	3	7	段ボールの原紙となる筒状のロールを、トラック荷台床に据え付けられ	40301	6	10～
		～	た手工具で、荷台の端まで移動させていたところ、ロールが被災者に向			29
		8	かって倒れ、下敷きとなった。			
2014	4	9	トラックからフォークリフトを用いて精密機械を降ろす作業を行ってい	80209	6	10～
		～	た際、機械をフォークリフトで持ち上げたところ、機械が落下し、			29
		10	フォークリフト付近にて、誘導作業を行っていた被災者に当たった。			
2014	6	11	クレーン付台船の船倉壁際に積み上げられた波消しコンクリートブロッ	30111	5	10～
		～	クに印字された番号を確認しようと、船倉壁と上段の波消しコンクリー			29
		12	トブロックの間に頭を入れていたところ、テトラポットが滑り落ち、船			
			倉壁との間に頭部をはさまれ、死亡した。			
2014	7	11	トラックに積んであった鉄製の入れ物を荷台で動かそうと、引っ張った	11203	1	10～
		～	ところ、鉄製の入れ物の網が外れ、後方に倒れ、高さ約1mの荷台から			29
		12	墜落した。			
2014	8	15	アスファルト舗装材の入ったフレコンバックの廃棄作業中、フレコン	10909	4	1～9
		～	バックの中身をトラクターショベルのバケットに移すため、フォークリ			
		16	フトでフレコンバックをつり上げ、その下に立入り、排出口の縛り紐を			
			解こうとしたところ、フレコンバックの取っ手が切れ、被災者の上に落			
			下し、下敷きになった。			
2014	9	15	揚貨装置を用いて、外航船の船倉から原木を荷揚げ作業中、約10本の	50202	6	10～
		～	原木をクラブバケットでつかみ、巻き上げたところ、原木が回転し、原			

		16	木の端の部分が船倉上部で揚貨装置の合図等を行っていた被災者に当たった。			29
2014	9	9 ～ 10	被災者が、ウイングボディのトラックの荷台側面のウイングを全開とし、荷台上で3段に積み重ねた荷の荷卸しを行おうと、荷を荷台に固定していた結束バンドを外したところ、最上段の荷が崩れ、梱包を破った木材に激突され、被災者が木材と共に荷台から墜落。頭部外傷により、死亡した。	40301	5	10～ 29
2014	12	9 ～ 10	トレーラーで運搬した紙ロール9本を荷締めした際、左右のあおりの内側に止めたラッシングベルトの左側だけを外し、地上で車両左側のあおりの止め具を後部、前部の順で外したところ、ロール紙の1本が荷台から地上に転がり、2本目を手で支えようとして、ロール紙の下敷きとなった。	40301	6	10～ 29
2013	9	22 ～ 23	荷主先のプラットホーム内において、4トントラックの荷台から台車に乗った荷物（ピザ生地ミキサー、約300kg）を被災者を含む2名で下していたところ、台車の前輪がプラットホームの溝（幅9.5cm、深さ1.3cm）にはまり、荷物がバランスを崩して転倒し、台車前方でしゃがんで荷物を移動させていた被災者に激突した。	40301	6	10～ 29
2013	2	8 ～ 9	被災者は、保育間伐作業現場より荷（重量約10トンの木材）をトラック（最大積載量11600キログラム）で土場まで運送した。到着後、荷を地上に降ろすためトラック荷台にあるスタクションのアームの安全ピンを外す作業を行っていたところ、突然荷が落下し、下敷きとなった。	40301	4	1～9
2013	1	10 ～ 11	仮設道路を設置する作業において、覆工板（重さ約370kg）をドラグ・ショベルを用いて覆工板を吊り上げ、4t積みダンプ・トラックの荷台に積み込んだ直後、既に荷台に積んであった覆工板が傾き、荷台にいた被災者がバランスを崩して地上に墜落したところに、積んだ直後の覆工板が落下し、被災者を直撃した。	30106	4	50～ 99
			物流センターで荷を下ろすために被災者がトラックのあおりを開いたと			

2013	12	2 ～ 3	ころ荷が崩れ、荷が当たり死亡した。尚、荷はキャビン側から左右2組、4列に並んで積まれていた。トラックの両ウィングを開け、運転席側のラッシングベルトを緩め、助手席側のあおりを開いたところ荷が崩れた。	40301	5	10～ 29
2013	3	18 ～ 19	最大積載荷重13.8tのトラックで運送中、被災者は荷台の積み荷（フープ鉄筋束、約79kg）が荷崩れしていることに気付いたため、高架下道路脇にトラックを止めて、会社に連絡し手助けを要請した。その後、手助けに向かったドライバーが、荷と荷の間に腹部を挟まれ意識を失っている状態の被災者を発見し、救急搬送したが死亡が確認された。	40301	5	10～ 29
2013	3	11 ～ 12	はしけよりジャンボタイヤ（4本、1本の直径2.7m、重量1.3t）を本船揚荷装置にて運搬し、船倉内に仮置きした際、ジャンボタイヤ（4本）のうち2本が倒れ、その傍で作業していた労働者が下敷きとなった。	50202	5	50～ 99
2013	9	15 ～ 16	2階の壁にあったシステム型枠部材（重さ約170kg）を3階へ上げるため、被災者が玉掛けを行い、16トンラフタークレーンを用いてつり上げたところ、当該型枠部材をつり上げるため取り付けしていた木製の横棧のくぎが抜け、ワイヤーロープのアイに通してただけの棧木が当該横棧からすり抜け、当該型枠部材が約2.5メートル落下し、下にいた被災者を直撃した。	30201	4	1～9
2013	6	14 ～ 15	段ボール箱受取作業に従事していた労働者は、三段積みパレット（高さ約45cm）を足場にしてコンテナ後部ドアを開け、さらに荷の仕切り板としてあるベニア板を固定していたロープの2本目を鉋で切った際、荷崩れし、ベニア板ごと被災者に激突した。被災者は仰向けに倒れ、死亡した。	10101	6	100 ～ 299
2013	2	13 ～	被災者は、倉庫でトラックの荷台（高さ1m）に積んであった古紙（バラ荷、高さ約1.2m、重量約100kg）をピットに設置されているベルトコンベアに落とすため、古紙の上に昇ったところ、誤ってベルト	10609	1	1～9

		14	コンベアに墜落（高さ約2.6m）した。			
2013	9	9 ～ 10	ビール箱（350ml缶×24本入り）売り場にビール箱を補充するため、被災者は、前日から13段積んであったビール箱のすぐ横で、脚立に乗りビール箱を補充しようとしたところ、13段の横に10段積んである空箱にビール箱を落とし、その衝撃で13段のビール箱が被災者に崩れてきたため脚立と共に倒れ後頭部を床に打ち、死亡した。	80209	5	30～ 49
2013	2	17 ～ 18	ドラグショベルのブーム（3.95t）をドラグショベル（機体重量23t）を使用してトラックに積み込む作業を行っていたところ、ブームがバランスを崩して横転し、荷台にいた被災者がトラックの荷台とブームの間に頭部を挟まれた。	80409	6	10～ 29
2013	9	15 ～ 16	被災者は、民家の庭先から解体後の足場部材（単管等）を路上に停車していた3トントラック荷台に積み込んでいた。単管は荷台上にて12～24本を1束として番線で緊結し、積み重ねていたが、何らかの理由により単管の束3束（約743kg）が崩れ、別部材を取ろうと荷台を背に屈んでいた被災者を直撃した。	30209	5	1～9
2013	9	10 ～ 11	型枠材の積込搬出作業において、パイプサポート24本をチェーンで束ねたものをクローラクレーンにて10tトラックの荷台に積み込んだ後、積荷のバランスが悪いので、被災者が荷台に乗ってパイプサポートの束を押していたところ、荷崩れし、被災者とパイプサポートの束が荷台から落ち、被災者はパイプサポートの束の下敷きになった。	30201	5	10～ 29
2013	6	10 ～ 11	コンクリート製集水枡（重さ約1.3トン）をクレーン機能付ドラグショベル（つり上げ荷重2.9トン）でつり上げ、既に敷設していた集水枡の上に重ねようとしたところ、つり上げていた集水枡が落下し、被災者に激突した。玉掛けワイヤーを掛けていた箇所（厚さ4センチで内部に鉄筋が通されている）が破断し落下したものと推測される。	30199	4	100 ～ 299
2012	11	15 ～	職員3人と被災者との4人で廃棄用の耐火金庫（高さ144cm、幅78cm、奥行72.3cm、重さ推定約800kg）を撤去するために平台車を用いて移動	80109	7	10～

		16	中、床の段差を乗り越えようと職員3人が金庫を押しした際、反対側でしゃがみこんでいた被災者の上に金庫が倒れて下敷きになった。				29
2012	2	13 ～ 14	原材料をホッパーへ投入するため、つり上げ荷重が1 tのクレーンのフックに、原材料の入ったフレコンバックのベルトを掛けて、フレコンバックからショベルローダーのバケットに原材料を移し替える作業を行っていたところ、当該フレコンバックのベルトが破断し、重量約850kgの当該フレコンバックが、被災者の上に落下した。	10909	4		30～ 49
2012	2	17 ～ 18	立体自動倉庫内において、スタッカークレーンでラック棚にポリエステルフィルムが梱包された箱6個（1個：96.7kg）を搬入しようと、パレット上に被災者が箱を載せる作業中、5個目を載せる際隣の荷受け台上に乗り、箱を移動させている途中で足が滑り転倒。その際箱を持っていたため、被災者側へ箱が倒れてきて、箱の下敷きとなった。	10805	2		50～ 99
2012	3	13 ～ 14	被災者は倉庫において、海外に出荷する中型タイヤ（重量362kg）を単独作業でラムフォークを使用し、コンテナへの積込み作業を開始していた。他の労働者が用事があるため電話連絡を行ったが被災者が応答しなかったため、コンテナ開口部から中を見たところ、左側側壁とタイヤに挟まっている被災者が発見された。	80401	7		10～ 29
2012	5	10 ～ 11	被災者は運送業の労働者であり、配送先において、テールゲートリフターを使用して荷（300～400kgのカーゴ）を降ろす作業中、地面近くで荷がリフターから滑り落ちそうになったため荷を支えようとしたところ荷が倒れ、その下敷きとなった。	40301	5		30～ 49
2012	11	17 ～ 18	製品置き場において、作業員が3段に積み重ねた金属製の空箱（高さ約1.5m）を所定場所まで人力で移動させていたところ急に傾き、隣にあった網籠（高さ約3.5m）に3段目の空箱の角の一部が引っかかってしまった。作業員単独で引っかかりを外すため空箱をゆすっていたところ、網籠が3段目から崩れ、補助に来た被災者に激突した。	11209	5		50～ 99
			土場において、土のう（重さ1 t）をクレーン機能付きドラグショベルで10 t ダンプに積み込む作業中、当該ドラグショベルのオペレーターが、				

2012	8	8 ～ 9	土のうを積む位置について被災者と話合おうと運転席から身を乗り出したところ、オペレーターが着用していた安全チョッキが旋回レバーに引っ掛かり、当該ドラグショベルが旋回した結果、荷台の上にはいた被災者が、動いた土嚢とトラックのあおりの間に挟まれた。	30106	7	1～9
2012	7	8 ～ 9	小麦原料納入工程中、20フィートコンテナ（小麦19t）の払出ハッチ（30cm角）が開かなかったため、コンテナ後部の観音扉左右をスリング紐で結び、右扉のみ少し開き原料納入を行おうとしたところ、右扉を開けた瞬間にスリング紐が切れ、被災者は一気にホッパーに流れ落ちた小麦に埋まった。	40301	5	30～ 49
2012	8	14 ～ 15	被災者はトラックにコイル材（直径1.27m：重量約800Kg×4）を積載後、荷台上で荷の状態を確認しようとした際、積載したコイル材が倒れ、既に積載積みのコイル材との間に挟まれた。なお、コイル材は荷台のラックに立て、ストッパーを置き、当該ストッパーをレバーブロックで引張固定されていたが、倒れた側はロックが解除されており、ニュートラルの状態となっていた。また、トラックは前方に2～2.5度傾斜していた。	40301	5	10～ 29
2012	10	9 ～ 10	フォークリフトの爪にチェーンを巻きつけ、自動車のエンジン積み降ろし用フックにチェーンのフックをかけ、解体中の自動車の車体前方部分を持ち上げていたところ、被災者が自動車の下部を確認した際、エンジン用フックが重みに耐えきれず変形して自動車が落下し、その自動車の下敷きになり死亡した。なお、当該作業方法は通常方法で不具合が生じたため、例外的に行った作業方法であった。	80109	4	1～9
2012	7	12 ～ 13	被災者は単独で倉庫内においてフォークリフトを運転中、保管中の袋物のはい（肥料袋60袋/1パレット、重さ1.2t/1パレット、パレット3段重ね）の最下段に接触したため、フォークリフトを降りて破れた袋をガムテープで補修するとともに、ほうきとちりとりでこぼれた中身の掃除をしていたところ、はいの中段と最上段が崩壊して下敷きとなった。	40301	5	1～9

2012	3	15 ～ 16	被災者はペット樹脂製造用の粉末原料の入ったフレコンバッグ（重量約1 t）の下敷きとなり死亡した。被災者はフォークリフトを使い、3段に積み重ねられたフレコンバッグを一つずつ持ち上げ、原料をホッパーに投入する作業を単独で行っていたが、2段目のフレコンバッグの一つに穴が開き型崩れしたことに伴い、3段目のフレコンバックが落下、フレコンバックから流出する材料を手で押さえていた被災者を直撃した。	10805	5	50～ 99
2012	1	9 ～ 10	最大荷重3 tのフォークリフトで荷（古新聞をプレスしたもの）を3段の積み荷の上に積み上げようとしたところ、荷を3段積みの上段の荷に当ててしまい、上段の荷がずれしまった。積み荷の落下の危険があるため、積みようとした荷は一旦下ろし、付近で別の荷の手直し作業をしていたところ、上段の荷（約1 t）が落下し、作業者に激突した。	80109	4	1～9
2012	9	7 ～ 8	被災者は新築工事現場に使用する窓ガラスを搬入するため、当該現場の地下2階搬入ヤードにトラックを停めた。その後、ガラス工がトラックの荷台からガラスの荷降ろしをする準備中、被災者はトラックの荷台の脇にいたため、荷崩れを起こしたガラス10枚（1枚約80 k g）の下敷きになった。	40301	5	50～ 99
2012	9	15 ～ 16	被災者はキャップ等が閉まったままのドラム缶を溶断していたところ、ドラム缶が爆発した。	80109	14	1～9
2012	12	17 ～ 18	パワーゲート付きのトラックから、キャスター付きの台車に乗せたコンピューター機器を梱包した荷を下ろすため、被災者が荷の前に、他の作業者が荷の後ろに分かれて、荷台からゲート部まで移動しようとしたところ、予想を超える速度で動き、トラックから荷が落ちそうな状態になり被災者が荷に押し出されるようになったため、被災者がゲート部から降り、荷を支えようとしたが支えきれず、荷の下敷きになった。	40301	6	1～9
2012	8	11 ～ 12	資材置き場前の道路において、トラック荷台へフォークリフトでH鋼を積込む作業を行っていたところ、積込んでいたH鋼が崩れ、荷台でH鋼の下へ角材を敷く作業等を行っていた被災者の頭部に激突した。	40301	6	1～9

2012	7	16 ~ 17	被災者は、大型トラックの荷降ろし作業に取り掛かった際、後部扉を開き、荷台に上がって、荷を固定していたラッシングベルトを取り外し荷台から降りた。そこへ左右2列に並んだ荷のうち、右列の荷が後方へ滑り出し荷台から転落した。次いで、左列の荷も同様に滑り出して荷台から転落し、その場にいた被災者が下敷きとなった。	40301	5	30~ 49
2012	1	16 ~ 17	被災者は、油圧ショベルに掴みアタッチメントを取り付けた重機を使用して、出荷する廃棄配電盤をトレーラーに積み込む作業を行っていた。仮置場から配電盤を掴み上げたが、掴み方が不安定だったため、一旦トレーラーの脇に置いて掴み直そうと掴みアタッチメントを離れたところ、傾斜して置かれた配電盤が倒れてトレーラーの運転者がその下敷きになった。	80109	5	30~ 49
2012	4	2 ~ 3	配達先の入口付近において、トラックから積荷を降ろす作業中、清涼飲料水を積んだカートラックを引っ張りながら後退していたところ、トラックの後部に装着されている昇降機から足を踏み外して墜落するとともにカートラックも落下し、下敷きになった。	40301	4	10~ 29
2012	1	9 ~ 10	被災者はフォークリフトで約1m持ち上げられたFRP製の魚タンク（タンクは固定されていない。）の中に入り、タンクから他のフォークリフトのバケットに魚を移し替え作業中、タンクのバランスが崩れて片側が床に落下し、タンクと共にコンクリートの床に墜落、頭を床に強く打ち、脳挫傷により死亡した。なお、保護帽は着用していなかった。墜落高さは、約1mであった。	10102	1	100 ~ 299
2011	10	8 ~ 7	幌つきトラック（積載荷重3.5t）のあおりを下ろした荷台の側方から、保冷キャビネット（高さ179cm×間口109cm×奥行109cm、重さ約380kg、キャスター付き）を荷卸しする作業において、荷台側方（高さ105cm）から落下した保冷キャビネットが被災者の後頭部に激突した。被災者は、地面に座り、前屈した状態で後頭部に保冷キャビネットが覆い被さった状態で発見された。	40301	4	1~9
			資材置場において、建設現場に鋼材10本（1本当たり約26m、重量			

2011	4	12 ～ 13	約2 t) を運搬するため、23 t トレーラーの前後に高さ約2.4 mの鉄製の架台を仮置きし、当該架台の上に鋼材10本を載せて、資材置場の下り勾配箇所を走行していたところ、前方架台が倒壊し、架台の上に載っていた鋼材10本が運転席を押しつぶし、被災したものである。被災者は、同月24日午前10時20分死亡した。	40301	5	1～9
2011	6	6 ～ 7	セミトレーラーの運転手が配送先工場内で荷ほどき中、頭部がセミトレーラーの荷台から落下した鋼管の下敷きとなり死亡したものの。	40301	4	10～ 29
2011	7	15 ～ 16	被災者を含む労働者3名は貨物船の船内で積み込み終わったパイプの束(7段、全体の高さ約3.4 m)をワイヤロープで固定する作業を行っていた。その際、労働者3名がパイプの束の上で作業中に5段目から7段目のパイプの束が荷崩れし、被災者がパイプの束とともに落下し、死亡したものの。他の労働者2名は退避できたため、被災しなかった。	50202	5	10～ 29
2011	3	13 ～ 14	鋼製コイルを裁断するため、切断機に鋼製コイルをセットする段取りをしていたところ、当該コイルは3束で梱包されているため、開梱したところ2束が倒れ(1束355 kg)、下敷きになったものの。	11209	5	10～ 29
2011	6	15 ～ 16	被災者が梱包場所で作業中、近くに積まれていた加工中の合板(923.5 mm×935 mm×35.5 mm、35枚積み)の山が2段積みされた上に3段目を乗せたところ、2段目が荷崩れを始め、荷崩れを止めようとフォークを下げ抑えこもうとしたが間に合わず、弾みで3段目も崩れ、下で梱包作業をしていた被災者の頭部に落下したものの。	10402	5	30～ 49
2011	6	9 ～ 10	被災日当日は、全日整理作業を行うことになっていた。被災者は2F北側の担当となり、一人でフォークリフトによる作業を行っていた。ラックの倒れる音が聞こえたため南側で作業していた同僚が被災者の様子を確認したところ、ラック間に仰向けで倒れていた被災者にフォークリフトで運搬していた2つ重ねた逆ネステ(ラック構成部材)が左太股の上に被さる状態で死亡していた。負傷状況から墜落によるものと推定される。	80401	1	1～9
			トラックの荷台から冷凍コンテナ(漬物運搬用:縦、横各110 cm、			

2011	11	12 ～ 13	高さ200cm、重さ約480kg)をパワーゲートで降ろそうとしたところ、パワーゲートのキャストロッパーにコンテナの車輪が引っかかり、コンテナを動かそうとしたところ、倒れそうになったため、支えようとしたが、倒れてきて、地面との間に頭を挟まれたもの。	40301	5	30～ 49
2011	5	13 ～ 14	本件事業場の材木置き場で被災者がトラックから落下した木材の下敷きになっているところを通行人に発見された。被災者は一人で作業をおこなっていたため、木材の下敷きになったところを目撃したものはいない。現場の状況から被災者は運搬してきた木材をトラック荷台から降ろすため、荷掛け用ワイヤーロープを外そうと荷締機を取り外した際に、積荷の木材1本が落下し、下敷きになったものと推測される。	60209	4	10～ 29
2011	5	22 ～ 23	パルパー担当であった被災者が、災害発生当日行方不明となり、事業場内で捜索されていた。同日他のパルパー担当であった同僚が、被災者が担当していたパルパーの液量が少なくなっていたため、コンベアを動かす、すでにコンベア上に乗ってあった古紙をパルパーの中へ投入した際、人のようなものがパルパーに落ちるのを目撃した。翌日1時頃、レスキューによりパルパーの中にいた被災者を発見、救出と同時に死亡が確認された。	10601	5	10～ 29
2011	10	18 ～ 19	地下2階に停車した3トントラックから、台車に積まれた重さ約700kgのベニヤ板を荷降ろしするために、同ベニヤ板を押してテールゲートリフターに移動させていたところ、誤って台車の車輪がテールゲートリフターから外れて台車ごとベニヤ板がずり落ち、テールゲートリフターの下に立っていた被災者に激突し、ベニヤ板の下敷きになり死亡したもの。	170209	4	10～ 29
2011	6	14 ～ 15	被災者は2トントラックで、自社からタンク架台を工場内に運搬した。架台をフォークリフトでつり上げて降ろすため、労働者がフォークリフトをトラックの荷台に寄せて、荷台によじ登りフォークに繊維ベルトを掛けてシャックルで固定していたところ、シャックルを地面に落した。被災者がトラック荷台から降りてシャックルを拾おうとしたとき、架台	11209	5	10～ 29

			が倒れて被災者の顔面を直撃した。			
2011	10	5 ~ 6	3 tトラックに住宅用壁面パネルを積み、午前5時15分頃に営業所を出発し走行中、積み荷が崩れそうになったため、路肩に停車させ、積み直しを行おうとしたところ、積んであった積荷（400Kg）が被災者の頭部に落下し、負傷した。直ちに病院に搬送したが、午前8時15分に脳挫傷で死亡した。	40301	4	10~ 29
2011	1	12 ~ 13	客先でトラック荷台内の卵が入ったラック（約370kg）をトラック後部に設置されたパワーゲートに乗せて降ろす際、何らかの原因によりラックが倒れ、下敷きとなった。	40301	5	30~ 49
2011	12	10 ~ 11	倉庫内において高さ5m（32段積み）に積んでいた米のはい崩し作業を作業員3名により行っていた。はいを3段のひな段状に組んだあと、高さ3mの位置（上段）に1人、高さ1.68m~2.05mの位置（中段）に1人及び床に1人配置（下段）して出荷していたところ、中段で作業していた作業員がはいの上でバランスを崩しコンクリート床に墜落し頭部を強打、脳挫傷により死亡した。なお、被災者は保護帽が未着用であった。	40301	1	10~ 29
2011	1	8 ~ 9	被災者は、14トントラックを運転して石膏ボードを建材業者へ運搬し、運搬先事業場の労働者による荷卸し作業が終わるのを待っていたところ、同労働者がフォークリフトにてトラック荷台上の石膏ボードを持ち上げて後退したが、同ボードを荷台からずれた不安定な状態で荷台上に戻し、そのまま後退したことから、同ボードのバランスが崩れ倒壊し、トラックの横にいた被災者が下敷きとなったもの。	40301	5	10~ 29
2010	12	10 ~ 11	卸売市場内の立体荷捌場建設工事現場において、緊結されたパネル（1t、35枚）をラフタークレーン（つり上げ荷重25t）で荷上げ中、地上から約11mの地点で、玉掛け用ワイヤーロープのフックに掛けられたナイロン製スリングのアイ部分が突然フックから外れたため荷崩れを起こし、トラックの荷台上で玉掛け作業のため手待ちしていた被災者の頭部に落下し、頭部骨折により翌日の未明に死亡したもの。	30201	4	1~9

2010	12	11 12	重さ約1.2t(約0.6tの荷2個)の強化ガラスを積んだ資材搬入会社の貨物自動車、災害発生事業場に到着後、被災者と貨物運転者の2名で荷卸しの準備作業中、天井クレーンに玉掛けをする前に荷の結束ロープを外したため、荷台上の荷が不安定になって崩れ、被災者の方に倒れて、被災者はその下敷きになり、死亡したと推定される。	11709	5	30~ 49
2010	10	13 14	雨水管布設工事現場の掘削溝内において、オープンシールド工法のオープンシールド機の組み立て作業を行っていた。被災者は当該機械の傍らで土の侵入を防止する鉄板をアーク溶接により固定していたところ、掘削箇所側に2段積みされた薬剤の入った立方体のタンク(1個の重量:約1.5t)が倒れて上段のタンクが被災者を直撃した。なお、雨で地盤がゆるんでいたが、タンク下には角材を地山に2本敷いたのみで、地盤の養生を行っていなかった。	30110	5	10~ 29
2010	10	11 12	物流会社の倉庫内において、被災者が1人でフォークリフトのフォークにフレキシブルコンテナバッグ(1袋、豆炭状の「土状黒鉛」約1.2t)の吊り紐を掛けた状態でフレキシブルコンテナバッグの底面を手掻きナイフで裂き、内容物を取り出す作業を行っていたが、フレキシブルコンテナバッグに縫い付けられた吊り紐がちぎれ、内容物が被災者の頭上に落下し、半身が内容物に埋もれて死亡した。	80401	4	1~9
2010	10	9 10	3tトラックから荷を卸す作業中に、台車に積まれた状態の荷物(平台と呼ばれる組立式テーブルが15段、重量350kg)が、高さ約0.7mのトラックのリフターから転落し、側で控えていた被災者に直撃し、当該荷物の下敷きになったもの。トラックのリフターのストッパーと台車のストッパーを施していなかった。	170209	4	30~ 49
2010	9	15 16	玄米バラ受け施設において、農家がフレコンに入れた玄米をトラックで持ち込み、被災者の同僚がテルハクレーン(つり上げ荷重2t)を操作してトラックからつり上げ(玉掛は農家実施)、荷受ホッパー上まで移動させ、被災者がフレコンの下のひもを解く作業をしていたところ、フレコンの2本ある吊りベルトのうち1本が経年劣化のため切断し、落	170209	4	30~ 49

			下したフレコン（重量約750kg）により荷受ホッパー周囲の鉄製囲いに被災者が押し付けられ死亡した。			
2010	8	8 ～ 9	事業場所有の倉庫において、被災者と作業員1名が倉庫内に保管していた鉄パイプ（1本）をクレーンで吊り上げたところ、作業場付近に積まれた鉄パイプの束のバランスが崩れ、重さ1.3tの束が被災者の方向に崩れ落ちたもの。	11501	5	10～ 29
2010	8	13 ～ 14	橋梁のつり足場用部材（単管5m×8本、合計重量108kg）を、橋脚上の仮資材置き場（高さ約28m）へ運ぶため、被災者が地上で部材とベビーホイスト（定格荷重180kg）のフックにワイヤロープ2本を掛け、橋脚上のベビーホイスト運転者が高さ約27m近くまで部材を巻き上げたところ、単管を結束していなかったため荷が崩れ、単管が荷の下にいた被災者の頭部に落下し負傷した。すぐに病院に運ばれたが3日後に死亡した。	30105	4	1～9
2010	6	12 ～ 13	工場において、港より搬入した木材（厚さ28mm、幅128mm、長さ6mの板を縦1.01m、横1.08m、長さ6mにまとめ緊結し、2段に重ねたもの）をフォークリフトにて降ろしていた最中に、下の荷の緊結が全て切れて崩れたため、上の荷が被災者の上に落ち、左胸部を強打し、病院に搬送されたが死亡した。	40301	5	10～ 29
2010	6	10 ～ 11	シートパイル（長さ12m）3枚が荷山から崩れ、被災者に激突したため、被災者はシートパイルとともに約2.5m下に転落した。玉外し後にクレーンを走行させた際、フックに掛けていたスリングが引っ掛かったか、あるいは、シートパイルが不安定な状態で置かれていたとみられる。	11209	5	1～9
2010	6	15 ～ 16	取引先である牧場の飼料倉庫において、わらの塊（圧縮されたわら、重量450kg）を積み下ろし作業中、同僚が客先所有のフォークリフトで倉庫奥に4段積み上げたのち、続けて手前に積み上げるため、被災者がパレットを敷いていたところ、奥に積み上げられた3、4段目のわらの塊が落下し、被災者に激突した。被災者は、病院へ搬送されたが、5	80209	5	100 ～ 299

			時間半後に死亡が確認された。			
2010	6	10 ～ 11	被災者は、12 tトラックの荷台に台付けワイヤーロープで固定され、運搬されてきた重さ2 tのコンクリート製のプレハブ建築資材の架台4基のうち2基のロープ外しの作業に従事していた。その際、架台の1基の支脚の接地部の一部が欠損しており、安定性が低下していたため、架台が被災者の方に倒れてきた。被災者は、荷台から地面に飛び降りたが、架台も荷台から地面まで倒れ、下敷きとなったもの。	40301	5	30～ 49
2010	5	14 ～ 15	被災者は、4 t冷蔵車からボトルコーヒー等の商品が入ったカゴ車（重量約330 kg）2台をパワーゲートに載せて、パワーゲートの先端をホームに降ろし、ホーム上に被災者がカゴ車の前方で荷を引っ張って移動中、カゴ車が前方に倒れ、ホームとカゴ車に挟まれ死亡したもの。	40301	6	30～ 49
2010	5	10 ～ 11	大型タイヤ（直径約2.6 m、重さ約1.4 t）のコンテナ詰め作業中、最大積載2.5 tフォークリフトで横吊し運搬してきたタイヤをコンテナに入れるため最大積載13 tフォークリフトで縦吊りに掛け替える際、無保持で自立していたタイヤが倒れた。被災者は本社から作業応援で当日から就業していて、13 tフォークリフトのフォークに鋼管を掛け渡すため、タイヤ横で待機していたところ、倒れてきたタイヤに挟まれ死亡したもの。	50202	5	50～ 99
2010	5	17 ～ 18	被災者はプラスチック原料の入ったフレコンバック（重さ750 kg）をフォークリフトを使って3段（高さ約3 m）に積む作業を単独で行っていた。作業の途中で被災者が床面のゴミを掃除してたところ、3段のうち上から2段のフレコンバックが崩れ、被災者が下敷きとなったもの。単独作業のため事故を現認していたものはおらず、被災者は翌朝に下敷きとなって死亡しているところを発見された。	10805	5	30～ 49
2010	4	5 ～ 6	営業所の倉庫内で、トラック荷台の後ろに飲料水等の荷物が積まれた手押し台車の下敷きになって死亡している被災者を従業員が発見したものである。荷降ろし作業中に誤って、台車の下敷きになったとみられる。	50101	4	100 ～ 299
			構内において、トラックの荷台からケーブルドラム2個（1個当たり；			

2010	2	17 ～ 18	重さ約840kg、直径1.1m)を同時に荷降ろしする際、運転者がフォークリフトを用いて荷を揚げたところ、フォークの爪に載り切れなかった奥側のケーブルドラムが落下しそうになったため、荷台の反対側でラッシングベルトを外していた被災者(トラック運転手)が、咄嗟に手で支えようとしたが、支えきれずケーブルドラムの下敷きとなり即死したものの。	40301	4	30～ 49
2010	2	9 ～ 10	フラフ燃料(紙くず、繊維くず、廃プラスチックをフィルム状に破碎し燃料化したもの)製造工程において、原料(廃プラスチック)をはい積みしていた近くで清掃作業中の被災者に、はい(1.2m×1.2m×0.9m、重さ340kg)2個が落下し、当たったもの。	150102	4	10～ 29
2009	3	16 ～ 17	会社の冷凍庫内において、被災者が1人でフォークリフトを操作し、パレット上にはい積みされた魚入り木箱(1段の高さ約1.6m×4段)を搬出する作業中、4段目の木箱をパレットに載せたまま1段目手前の床面に下ろした後、被災者が下ろした荷の前方に立ち込んだ時に、3段目から下の木箱が崩落し、下敷きとなった。	80109	5	10～ 29
2009	12	10 ～ 11	回収した鉄スクラップを入れる鉄製の箱(220×418×高さ79cm:自重1t+スクラップ3t計約4t)を運搬船に載せるために岸壁に設置したデリック(つり上げ荷重12t)でつり上げ搬入していたところ、当該箱を搬入したスクラップ上の不安定な場所におろしたため、玉掛け作業を行っていた被災者がつりチェーンを外した後、移動していた時に箱がすべって、被災者に激突し、当該箱と船の隔壁の間にはさまれた。	80109	6	1～9
2009	6	16 ～ 17	工場の原料倉庫内において、仮置きした鋼鉄コイル(外径82cm、内径48.5cm、幅1.07m、重量約2.1t)付近に、無線操作式天井クレーン(定格荷重22t)で別の鋼鉄コイル(外径78cm、内径49cm、幅1.165m、重量約1.8t)の積み付け作業を行っていたところ、当該鋼鉄コイルが被災者に激突し、仮置きしていた鋼鉄コイルとの間にはさまれた。	50101	6	30～ 49
		18	台風の接近に備えて5段の階段状に重ねられた空コンテナの固定状況を目視で確認することとなり、被災者他3人が空コンテナ上にあがっていた			

2009	10	～	が、5段目を確認した後、4段目に移動したところで被災者が居なくなっ	50202	1	10～
	19		ていることに他の作業者が気付き捜索したところ、約12m下の地上で倒			29
			れている被災者が発見された。			
2009	1	～	被災者はトラックの荷台に積まれた木材がくずれないように、木材の上	40301	1	10～
	11		に乗りラッシングベルトを締める作業を行っていた。その際に、木材の			29
	12		上から墜落した。災害発生時、被災者はヘルメットを着用しておらず、			
			木材の上に乗るために靴を脱いでいた。トラックは最大積載荷重			
			12400kgで地面から積荷の上までの高さは3.095mであった。			
2009	7	8	被災者が当該事業場に配送されたトラックの荷台の留め具を外したとこ	40301	4	10～
	7	～	ろ、あおりにもたれかかっていた荷物（紙ロール270kg）が落下した。			29
	9		この荷物が被災者の身体に当たり、被災者はそのまま仰向けに倒れこみ			
			被災した。			
2009	3	10	倉庫において、タイヤの原料となる粉状のカーボンブラックの入ったフ	40301	4	50～
	3	～	レコンバック（高さ1.5m、直径1m、重さ600kg）の搬入作業中、2段積			99
	11		みしたフレコンバックの上段が崩れ落ち、同フレコンバックの下敷きに			
			なった。			
2009	10	8	本船のデッキ上に積まれていたコンテナをガントリークレーンを用いて	50202	1	50～
	10	～	岸壁に積みおろす作業中、4段目に積まれていた40フィートフラットコン			99
	9		テナを玉掛け作業後、隣のコンテナに降りようとした際に、約7.5m下の			
			デッキ上に墜落した。			
2009	7	2	トラック搬入出口付近に積まれたトイレトペーパーを梱包した段ボー	80109	16	50～
	7	～	ル付近から出火、瞬く間に倉庫全体に火が燃え移り、鉄骨3階建ての倉庫			99
	3		（約8800平方m）が全焼し、焼け跡から被災者1人が発見された。			
2009	1	9	被災者は単独で、貨物自動車荷台上の重さ1.0126tのロール紙を、納入の	40301	4	10～
	1	～	ために転がす等の作業を荷台上で行っていた。被災者は体勢を崩した			29
	10		か、あるいは想定外の外力を受けて荷台から墜落し、墜落した被災者の			
			上に、ロール紙が落下してきて被災した。			

2009	9	14 ～ 15	屋外製品ヤードにおいて、クレーンでトラックに3本の鋼管を積み込んだ後、助手席側のおおりを閉めようとしたが、台木がおおりに当たって閉まらなかったため、台木の位置を修正しようと被災者は別の台木で叩いていたところ、積み込んだ鋼管（1410kg、800A×7500mm）2本が転がり落ち、被災者に激突した。なお、鋼管の転位を防止するため、2箇所にくさびが設けられていた。また、路面は助手席側に傾斜していた。	50101	5	100 ～ 299
2009	7	12 ～ 13	事業場を出発したトラックに積み込まれていた基礎工事用鋼管ケーシング6本が、荷崩れを起こしたため道路路肩に停車した。荷崩れを直すため、事業場から応援にきた作業員3人とトラックの運転手の4人で、トラック積載形小型移動式クレーンを使用して積み直しをしていた。ケーシングを固縛する作業を実施していたところ、被災者が荷台上のケーシングから墜落し、身体を強打し意識不明になり、死亡した。	30199	1	50～ 99
2009	2	9 ～ 10	天井クレーンを使用し、トラックの荷台へコイル8束（約6.4t）を積込中、L形フックを外したところ、まもなくコイルが崩壊し、コイルとスタンション（支持柱）の間にはさまれた。	40302	5	10～ 29
2009	5	11 ～ 12	被災者は養鶏の餌を調合するため、倉庫内にて単独で作業を行っていた。餌の材料である米かすを取りに行く途中、材料の隣に4段で積み重ねられていた袋状の荷（トウモロコシ粉・魚粉、1袋500kg、高さ60～70cm）が崩壊し、上2段の荷が被災者に落下し激突した。単独作業のため目撃者はいない。	70101	5	10～ 29
2009	1	20 ～ 21	木造建築現場に建築資材を配達した被災者が、その建築資材（プレカット合板等）の下敷きになった。	80209	5	30～ 49
2009	11	11 ～ 12	スーパーマーケットの商品搬入口において、商品（段ボール梱包された飲料、重量約300kg）を降ろす作業中、トラック後部の油圧昇降機（テールゲート）を使ってキャスター付き台車（0.7m×0.8m×1.7m）に乗せた商品を降ろそうとしていたところ、誤って被災者は当該台車とともにテールゲートから転落し、商品とキャスター付き台車の下敷きと	80109	1	50～ 99

			なった。			
2008	11	13	資材置場で鋼管杭(直径80cm、長さ15m、重さ2.6t)4本をトレーラーに積み込む作業をしていた。3段に積まれた鋼管杭から、2段目の鋼管杭をつり上げるためにハッカーを用いて玉掛け作業中、鋼管杭が荷崩れを起こして転がり落ちた。玉掛け者であった被災者は、鋼管杭から飛び降りたところを転がり落ちた鋼管杭にひかれて死亡した。	50101	5	10～ 29
2008	9	9 ～ 10	工事現場内の管理棟において、運送会社の運転手が、15tトラックに積載された鉄骨柱(重量3.5t、長さ約10m、44cm×44cm)を固定したチェーンを解く作業を行うためトラックの荷台付近にいたところ、荷台から落下した鉄骨柱の下敷きとなり死亡した。	30201	4	10～ 29
2008	4	12 ～ 13	事業場駐車場において、トラック(最大積載量13.2t)からトラック(最大積載量3.3t)へ、荷の積載されたカーゴ台車(重量約300kg)をトラックのパワーゲートを利用し積み替え作業をしていた。その際カーゴ台車が転倒して台車の積み替え作業を行っていたトラック運転手が下敷きとなった。	40301	6	100 ～ 299
2008	5	12 ～ 13	自社倉庫内において、4tトラックの荷台から8台のキャスター付きコンテナ(1台約400kg)を降ろす作業中、荷台左側の3台のコンテナを降ろした後、被災者が右側の荷台のあおりを下ろした際、コンテナの重みで荷台が右側に傾いていたためにコンテナが荷台から落下して被災者に当たった。	40301	4	30～ 49
2008	6	9 ～ 10	被災者が積み上げられたダンボール上(高さは約1m)で一人で作業を行っていた。しばらくして別の作業者が被災者が出血して座り込んでいるところを発見した。病院へ搬送後、死亡した。	80109	1	30～ 49
2008	8	10 ～ 11	梱包がほどけたスリットコイル(板厚1.6mm、板幅75mm、重量569kg)をフォークリフトの爪を利用してスリットコイルの穴に通して修正作業を行おうとしていたところ、背後から別のスリットコイル(板厚1.4mm、板幅153mm、直径1300mm、重量1377kg)が倒れて下敷きとなり死亡した。	50101	5	30～ 49

2008	12	14 ～ 15	被災者は、船舶上でパイプ（径14cm、総計1847本、総重量755t）の玉掛け作業を行っていた。304本積み込みしたところで、積込指示書と実際の積み位置に相違があることに気付き、一旦作業を中断した。その後、パイプの積み込み方法の確認のため、パイプ上から内航船床面にいた検数員と打ち合わせした際、パイプ上（高さ約4m）から内航船床面に墜落して死亡した。	50202	1	10～ 29
2008	7	8 ～ 9	揚貨装置（最大能力150t）を用いて、船艙（ハッチ）に金属コイル（重量16t）2個を積み込む作業において、当該金属コイルが壁面のダンネージ（壁面緩衝材）に当たりダンネージがはがれた。はがれたダンネージを取り付けるために当該金属コイルを移動（右旋回）したところ、金属コイルが振れて被災者に激突した。	50202	6	50～ 99
2008	3	18 ～ 19	硝子の加工場で天井クレーンを使用して積み込みの作業をした際、積荷を固縛した後、クレーンのワイヤーを外した。天井クレーンが離れた後に固縛の位置変更を行ったが、荷の固定が不十分であったため、積荷が倒れて被災者が下敷きになり死亡した。	40301	5	30～ 49
2008	3	14 ～ 15	コイル状の鉄線材スクラップ（線材コイル）の回収作業を同僚と2名で行っていた。線材コイルをフォークリフトのフォークに掛けドーナツ状に結束する方法で作業中、すでに結束を終えてフォークから外して立て掛けてあった線材コイル（高さ約1m、重量約1.5～2t）が倒れ、フォークにつつま線材の結束作業をしていた被災者に当たり、両方のコイルの間にはさまれて死亡した。	11209	7	30～ 49
2008	1	15 ～ 16	資材置き場で塗装をされた柱材（重量約1.2t）を納品するため、作業員2名と運送会社作業員2名で積載形トラッククレーンを使用して荷台へ柱材の積み込み作業をしていた。3本目の柱材を1本目の柱材の上に重ね、柱材の座り具合を確認していたところ、突然バランスが崩れて柱材が回転し、玉外し作業をした被災者が逃げ遅れて柱材の下敷きになりトラックのあおりとの間にはさまれた。	11209	6	1～9
			移動式クレーン（つり上げ荷重25t）を使用してマンホールブロック（9			

2008	11	15	分割)の最後のブロックを設置しようとした時、切梁が障害となったため一度玉外しを行い、ブロックを仮置きした。ワイヤーが外れた状態の	30199	5	1~9
		16	ブロック(約4t)の下部を作業員2人がバールを使用して押し込んだところ、ブロックが倒れて被災者が壁とブロックの間にはさまれた。			
2008	11	13	同社の資材置場で、杭打用に使用するケーシングパイプ(長さ6.5m、直	30199	6	1~9
		14	径66cm、重量約700kg)をワイヤーでつり上げて移動しようとしていたところ、ケーシングパイプの先端が運転席に激突した。			
2008	1	8	事業場の資材置き場において、車両積載形トラッククレーン荷台上の型	150102	5	30~
		9	枠資材の積み下ろし作業を行っていたところ、突然、積荷が崩れて背部に激突し、これに押し出される形で荷台より転落して身体を強打した。			49
2008	7	18	被災者は玉掛け作業の終了時間を確認するために台船上のアバロンブ	30111	1	1~9
		19	ロック(高さ3m)上に出てきた時、アバロンブロック上から台船甲板上へ墜落した。			
2008	9	14	倉庫内の天井クレーン(定格荷重2t)を使用して家畜用飼料が入っているフレコン(袋状の包材)を粉粒体運搬貨物自動車(バルク車)に積み	40301	5	50~
		15	込む作業中、指定されたフレコン(0.5t)を探すために2段積みフレコンと3段積みフレコンの間のスペースに入って品名を確認していたところ、3段積みフレコンの2段目と3段目が崩れてきたため、これに圧迫されて死亡した。			99
2008	4	11	被災者は、石膏の入った円柱形の袋(直径90cm、高さ約90cm)の上に乗	150102	1	10~
		12	り、乗っていた袋より一段高い位置に積まれていた同種の袋を重機で運搬するために、ワイヤーを重機のフックと運搬する袋のつり紐に取り付けていた。その取り付けを終えて重機の邪魔にならないように袋の上から後ろ向きに降りようとした際に、乗っていた袋の上のつり紐に足を引っ掛けて、後ろ向きに墜落した。			29
2008	8	17	店舗の外壁用のガラスパネルをトラック上に2人一組で天井クレーンで、	30209	4	1~9
			専用のつり具を用いて積み込もうとして地切りした後、移動させ始めた際、荷が振れ、その上端部が天井クレーンのレール下部のH鋼部にあた			

		18	り、長さ81cm幅9cmの破片が落下して直下で作業していた被災者に突き刺さり死亡した。			
2008	4	8 ～ 9	工場内において3段に積んであった米袋（フレキシブルコンテナ、1袋約900kg）のうち最下段の袋が破れたため、一人でガムテープで補修していたところ、2段目と3段目の袋が崩れて2段目の袋の下敷きになり死亡した。	10103	4	10～ 29
2008	1	9 ～ 10	検品作業のため梱包された製品の上（高さ76cm）に乗り、検品する製品をバーコードリーダーでバーコードの読み込み作業（バーコードの位置は高さ約2.8m）を行っていたところ、乗っていた梱包製品から転落して検品していた梱包材が崩れてきてはさまれて死亡した。	10409	5	30～ 49
2008	1	10 ～ 11	トラックの荷台からロールボックスをフォークリフトで下ろす作業中に、ロールボックスをフォークリフトでつり上げたまま被災者がフォークリフトから降りた後、ロールボックスの横に置かれたクールボックスがトラックの荷台から落ちて、被災者がその下敷きとなり死亡した。クールボックスは重さ336kgでキャスター4輪がついていた。また、荷台後部の荷物落下防止用ストッパーが荷台上にはあったが使用されていなかった。	40301	4	50～ 99
2008	9	16 ～ 17	排水中和用消石灰のフレコンバック（1t入）を精鉱倉庫から排水処理の消石灰倉庫へフォークリフトを用いて、運搬作業中に発生した。2名の作業員で14袋の運搬作業をしていたが、フォークリフト運転者が戻ってこないで、もう1人の作業員が様子を見に消石灰倉庫へ行ったところ、フレコンバックの下敷きになっている被災者を発見した。	10809	4	100 ～ 299
2008	6	8 ～ 9	ヒューム管（約1.5t、長さ4m、径600mm）を小型移動式クレーンの荷台中央にフォークリフトで積み込んだ後、人力で荷台奥側（進行方向右側）に回転させながら移動したところ、荷台が傾きヒューム管が落下しそうになった。被災者はこのヒューム管が落下する前に荷台から地上に降りたところ、ヒューム管と地面の間にはさまれた。	40302	4	1～9

2007	5	7 ～ 8	仕入先工場へ、穴明け加工を依頼したアングル（グレーチング受材、長さ6 m、重量1本あたり26.5 kg、計8本、重量合計212 kg）を被災者ら2名で取りに行き、最大積載重量1.5 tトラックに積載し、束ねた後、固定する作業中に当該アングルが横滑りしてバランスを崩し、支えようとした被災者がトラックより落下、その上に束ねた当該アングルが落下した。	30201	5	1～9
2007	4	10 ～ 11	被災者が、トラックへの荷（フレコンバッグ重量1020 kg）の積み込み作業を手伝っていた際、倉庫に積み上げられていたフレコンバッグが崩壊し、当該フレコンバッグと出庫作業に使用していたフォークリフト（最大荷重3 t）のフォーク部にはさまれ死亡した。	40301	5	30～ 49
2007	7	13 ～ 14	山の斜面（勾配約30度）での木材搬出作業中、伐倒木の荷かけ作業を完了した被災者から無線でロージングブロックの巻き上げの連絡を受けた集材機運転士が、ワイヤーを巻き上げたところ、ロージングブロックが切り株等にかかったため、被災者に確認するよう無線で連絡したが、被災者からの応答がなかったことから、被災者を捜したところ、切り株から約5.2 m離れた位置で被災者が倒れていたところを発見した。	60201	6	1～9
2007	2	7 ～ 8	被災者は、配送先の倉庫内で積荷を卸し終え、トラック荷台のウイング部分を降ろすため、荷台横の開閉ボタンを操作していたところ、被災者の後方に荷卸されていたロール紙（高さ88 cm、直径94 cm、7段積）が被災者方向に崩れ、ロール紙とトラックの間にはさまれた。	40301	5	50～ 99
2007	1	8 ～ 9	建設用鋼材（長さ0.2 m～9.165 m総重量20.157 t）を23 tトレーラーから降ろすためのロープ解き作業中、突然、建設用鋼材が崩れ、その下敷きとなった。	40301	5	10～ 29
2007	3	11 ～ 12	被災者が、乾燥牧草（一束450 kg）を保管している倉庫内で床面の乾燥牧草を整理する作業を行っていたところ、4段に積み上げていた乾燥牧草のうち、上部の3束が崩れ、被災作業者を直撃した。	80209	5	1～9
		13	岸壁に接岸された船舶からプレカットされた建材（バンドで結束された荷、重さ約3 t）を岸壁に荷揚げ作業を行っていた。被災者が船底で盤			10～

2007	12	～ 14	木の整理をしていたところ、背後の荷（4バンド分）が崩壊し下敷きとなった。	50202	5	29
2007	7	～ 4	運送業務に従事する被災者は荷を2 tトラックに積み込むに当たり、荷を積載したかご台車（総重量約530 kg、高さ1.65 m、幅1 m、奥行72 cm）を手で引いて、冷蔵倉庫のプラットホームから同所に直付けしたトラック荷台に移動させていたところ、かご台車が転倒し、下敷きとなった。	40301	6	50～ 99
2007	5	～ 15	加工センターにおいて、異形棒鋼（1本50.4 kg）を15本まとめたものをつり上げ荷重2.8 tの橋形クレーンでつり上げ、運送会社のトラックの荷台に乗せる作業中、荷をつり上げた際に一端のワイヤロープがクレーンのフックから外れ、地面に落ちた反動で他端が跳ね上がり、跳ね上がった異形棒鋼の先端部分が被災者に激突した。	11209	6	10～ 29
2007	8	～ 17	コンクリート製品製造事業場内で、被災者は製品として屋外に立て掛けられていたコンクリート製の防火水槽の蓋（縦2.4 m、横3.4 m、厚さ0.4 m、重量約5 t）の表面仕上げ作業を行うため、当該蓋の下部を足がかりにして上ったところ、蓋が被災者側に倒れ、下敷きになった。	10901	5	1～9
2007	3	～ 14	製鉄工場発注の防熱板（約1.6 m×約4.0 m、重量約800 kg）をトラックにて構内納入し、荷台より構内天井クレーンを使用して荷おろし作業をしていたが、玉掛けワイヤロープが不均一であったことから数回長さ合わせを実施し、ロープを手で引っ張った時に防熱板が倒れ、荷台上にいた被災者ととともに転落し、被災者は防熱板と地上に設置していたノロパック（鉄製）との間にはさまれた。	40309	5	1～9
2007	11	～	直径1800 mm厚さ90 mmのスリットコイル（重量約1.5 t／個）2個の内円部上端にフォークリフト（7 t）の爪先端部を掛けて移動し、仮置きするため倉庫の壁に立て掛けたところ、爪を抜く際にコイルの内端部（芯部）が引っかかり手前に解けたため、手前の1個を再び	50202	4	10～ 29

		17	爪先端ですくい上げて後退し、下車した被災者が、先に降ろしたコイルの芯部を巻き直そうとしたところ、爪から外れたコイルが被災者に落下した。			
2007	9	10 ～ 11	射出成型機で使用するペレット状原料が4段積みされた近くで、出来上がった製品の出荷検査を行っていたところ、最上段の荷が被災者の上に崩れ落ちた。	10805	5	50～ 99
2007	12	8 ～ 9	積み上げたコンクリート型枠が崩壊し被災者が下敷きとなった。	10901	5	10～ 29
2007	7	8 ～ 9	倉庫内において、完成した石膏ボードを120枚（1枚90cm×180cm×12.5mm、重量14kg）づつ3段に積み上げ作業中、被災者が隣地において石膏ボードの下に敷くための台木を敷き並べていたところ、積み終えたばかりの石膏ボードが3段目から下50枚を残して崩壊し、台木の敷き並べをしていた被災者が下敷きとなった。	10909	5	10～ 29
2007	10	20 ～ 21	被災者は1名で倉庫内でフォークリフトを用い、荷（ポリプロピレン製樹脂シートを束にして結束し、パレット積みしたもの）を片付ける作業を行っていた。運転していたフォークを降りたところ、すでに4段に積み上げられた荷が崩壊し、最上段に乗せられていた荷が被災者を押しつぶした状態となっていたところを同僚に発見された。	10801	5	1～9
2007	7	5 ～ 6	8. 8tトラックで自動車部品を運搬していた被災者が、荷卸先において自動車部品を積んだ車輪付のかご台車（総重量約270kg）を同トラックの荷台から荷卸し作業中、地面から13cm上で停止させたテールゲートリフター上のかご台車を手前に引いたところ、かご台車が倒れ、被災者は、かご台車と地面の間に前屈姿勢ではさまれた。	40301	6	10～ 29
2007	8	7 ～ 8	工場内で大きな金属音がしたので工場長らが駆けつけると、3段積みのキャスター付きパレット（1台の高さ1m、幅1m、総重量350kg）と製品が床に崩れ散乱し、被災者はぐったりと座り込んでいた。病院に搬送されたが死亡した。	11502	5	30～ 49

2007	9	13 ～ 14	トレーラーで荷を運送する業務において、荷おろしのため、ロープを解いた後、トレーラーの荷台の横に立って、解いたロープを収納していたところ、2段に重ねて積まれて荷台に載っていた荷のうち、上の荷（重さ約550kg、大きさ約100cm×70cm×高さ100cm）が荷台から落下して、激突された。	40301	6	1～9
2007	1	8 ～ 9	建屋外にある2段重ねのフレコンバック（一袋約1tでコークスが入っている）のうち、下のフレコンバックが破損し、そこからコークスが漏れだしたため、被災者が補修（単独作業）しようとしたところ、不安定な状態になった上段のフレコンが崩壊してしまい被災者が下敷きになった。	11502	5	300 ～ 499
2007	10	13 ～ 14	午前中に玄米が入った米袋（重さ約1t）の移動作業中、米袋から相当量の米をこぼした。午後から別の米袋にこぼれた米を入れ替える作業を行っていた時、3段積の米袋が崩壊、その下敷きとなった。	80109	5	1～9
2007	1	9 ～ 10	コンテナトレーラーからの荷降し作業において、コンテナ内部奥にある荷（梱包された集成材1段1個の3段積み、1個当たり：幅50×高さ64×長さ210cm、重量約270kg）をハンドリフトを使用し手前側に移動中、ハンドリフトの車輪がコンテナ作業床の端より外れたため、3段積みの荷が被災者側へ荷崩れし、近くに止めていたフォークリフトのフォーク垂直部分と荷にはさまれ死亡した。	10402	5	10～ 29
2007	5	10 ～ 11	配達先でトラック（最大積載量3,750kg）から積荷の鋼材の束（長さ約5.5m、重さ約300kg）を降ろす作業中、他の作業者があおりを降ろそうとしたところ、あおりの降下とともに荷台から鋼材の束が落下し、あおりに手をかけていた被災者が鋼材の束の下敷きとなった。	40301	4	1～9
2007	12	7 ～ 8	マイナス25℃の冷凍庫内で原料入り段ボール箱（重量約12kg／個）の下敷きとなって意識のない状態で倒れていた被災者が発見された。被災者は段ボール箱30個（3個×10段）を積載したカゴ台車を引き出そうとしたところ、足を滑らせて転倒し、崩れ落ちてきたダン	10109	5	30～ 49

			ボール箱の下敷きになったものと思われる。			
2007	10	14 ～ 15	被災者はトレーラーに積載されたコンテナ内部で積荷（木製杭1束10本、約6.5kg）をパレット上に合計70束（パレット重量を含め500～600kg）移し替え、一人で積荷をパレットごと搬送ローラー（非駆動）でコンテナ後方に移動し、荷卸しするため地上で待機中のフォークリフト運転手に声を掛けたが不在であり、地上に降りたところ、パレットと積荷が落下して下敷きとなった。	50101	4	10～ 29
2007	9	16 ～ 17	倉庫内に積まれている米の出荷を行うためフォークリフトを取りに行った被災者が戻ってこないため、同僚が探しに行ったところ、別の倉庫内で小麦の入ったフレコンバッグ（1袋1t）で構成されたはい（最大高さ4.3m）が崩れ小麦が散乱しており、フレコンバッグをよけたところ下敷きになっている被災者を発見した。	170209	5	50～ 99
2007	11	16 ～ 17	被災者はリース会社の敷地内で、建設現場から引き取ったリース品である仮設ハウスの荷下ろし作業を行うため、積載形トラッククレーン（つり上げ荷重2.9t）の荷台上にある仮設ハウスの屋根に上り、玉掛け作業を行っていたところ、約4m下の地面に墜落した。	40301	1	10～ 29
2007	10	21 ～ 22	構内にあったコンテナをトレーラーに積み込むため、構内貨物取扱業者の作業者がフォークリフトを運転し同コンテナを持ち上げたところ、隣りに置いてあった2段積みコンテナの上部の空のコンテナが落下し、積み込み予定の同コンテナに封印環を取り付けようとしていた被災者に激突した。	40301	4	100 ～ 299
2006	8	13 ～ 14	病院の病歴管理室において、入院カルテ管理作業中、机の上でカルテを束ねていたところ、カルテが机の上から落ちて被災者に当たった。勤務終了まで痛みを我慢していて、当初予定していた人工透析を受ける診療所へ直行し、応急処置を行うも症状が悪化し、別の病院で緊急手術を行ったが、死亡した。	130109	7	1000 ～ 9999
			工場内に2tトラックを入場させ、トラックの荷台に高さ1.1m、長さ3.5～4.75m、直径7cm、重量50～60kgの安全柵6本			

2006	12	11 ～ 12	を、つり上げ荷重900kgのテルハを使用し、1本ずつ起立した状態で積み込んでいたところ、安全柵がバランスを崩し高さ37cmの荷台のあおりを超えて工場床面へ倒れ、床面で積み込み補助作業をしていた被災者に当たった。	11301	5	1～9
2006	11	15 ～ 16	廃棄物（薄い木くずの束、1束約1t）をトラック（最大積載量13.9t）で運搬してきた労働者が、荷台の上で作業していたところ2段に積み上げられた木くずの1束が荷崩れした。被災者は荷崩れした荷に激突され、トラックの荷台から荷と一緒に墜落し、そのまま荷の下敷きとなった。	40301	5	50～ 99
2006	11	0 ～ 1	溶接の仮付け作業を行っていた際、仮付けする鉄板が浮いていた為、クレーンに重り（上3.5t、下5.0t）を吊り、浮き上がり箇所に重りを下ろしたところ、重りが傾き上の重りが滑り鉄板の状況を見ていた被災者の上に落ちた。	11301	4	1～9
2006	10	16 ～ 17	船の2番ハッチで船内荷役作業中、高さ約12メートルの荷（ウッドパルプ）の上で、玉掛け作業を行っていたところ、荷とコルゲーション（ハッチの壁面に凹部があるもの）の間に転落した。	50202	1	30～ 49
2006	10	14 ～ 15	米の貯蔵倉庫にて、倉庫内に鳩が入っていたのを発見し、倉庫の電気を消して倉庫入り口のシャッターを閉めて鳩を捕まえようとしていたところ、はい付けした米俵の上、約2.2mの高さから地面に墜落した。	170209	1	10～ 29
2006	10	9 ～ 10	被災者は4トントラックに空パレット（金属製：85キ口）を26個積み、午前9時すぎ、目的地に到着した。既に別のトラックが規定の場所で荷卸作業をしていたため、直前の通路にトラックを駐車し、ここで荷卸作業を開始した。フォークリフトは同僚が運転し、被災者は荷卸している荷台の反対側にいたところ、フォークリフト作業の影響で被災者側の一列（10個）が落下し、被災者を直撃した。	40301	4	50～ 99
2006	9	10 ～	リーチフォークリフト（1.5トン）で、屋外紙置き場に2列4段で積み込まれていた用紙の束（高さ90センチ、幅126センチ、奥行80センチ）	10701	4	10～

		11	チ、重さ約1.1トン)を工場内の所定の場所へ移動する作業の工程で荷が崩れ、荷卸し補助作業中の被災者が荷の下敷きになりった。			29
2006	6	7 ~ 8	原料処理場において、脱水率調査用のサンプルとして原料のキハダマグロを2段積み解凍タンクの上で取り出す作業中墜落した。	10102	1	100 ~ 299
2006	8	13 ~ 14	最大積載量7.25トンのトラックに廃コンテナ(高252幅230奥行323センチ)2個を載せ、自社処分場に搬入した。油圧ショベル(アタッチメント:マグネット)のフックに玉掛用ワイヤロープを掛け、1個目の荷下ろしをした。2個目のコンテナに玉掛けするために被災者がコンテナ上部にあがったとき、姿勢を崩し、荷台上に墜落した(高252センチ)。	80209	1	1~9
2006	8	9 ~ 10	トラックから荷降ろしした際、散らかった古紙を清掃中、脇にあった古紙のはいが崩壊し、下敷きとなった。	40301	5	30~ 49
2006	7	16 ~ 17	資材センター内で足場板に防錆塗料の塗布作業中、崩れた資材の下敷きになった。	80409	5	1~9
2006	7	13 ~ 14	工場内で、12.5tトラックから大型ダンプ用タイヤ(直径1.8m、重量370Kg)をフォークリフトで積卸す作業中、付近で別作業をしていた労働者がトラックの荷台の下で横たわっている被災者(トラック運転手)を発見した。トラック荷台には立て掛けてあったはずのタイヤが倒れており、その下から被災者のヘルメットが発見された。	40301	5	100 ~ 299
2006	6	9 ~ 10	被災者他7名により、デッキクレーンを使用して岸壁から外国船の船倉へのめっきコイルの荷おろし作業を行っていた際、玉掛け及びクレーン合図を行っていた被災者はコイルとコイルにはさまれた。	50202	6	50~ 99
2006	5	9 ~ 10	構内において、手前に2段の荷(木材)の上段を一束取ろうとしてフォークリフトの爪を入れて持ち上げ、後方に下がったところ、後列に積んであった荷が崩れ、隣で検品していた被災者に当たった。	50101	4	1~9

2006	5	14 ～ 15	倉庫内で、被災者はサービス部品の確認もしくは収集の際に高さ3mの 収納ワゴンから床に墜落し、倒れているのが発見された。	11502	1	100 ～ 299
2006	5	16 ～ 17	2段積みにしたフレコンバッグのフォークリフトでの運搬作業中、運 搬前の物について下段の袋が破れ、粉体がこぼれ出ているのを発見した ため、フォークリフトを降り、テープで穴を塞いでいたところ、上段の 袋が滑り落ちて来て身体を挟まれた。フレコンバッグの1袋の重さは9 00kg、パレットに固定されていた。	11001	5	50～ 99
2006	6	3 ～ 4	人造黒鉛電極製造過程における成形品（円筒形、直径64cm、長さ2 90cm、重さ1.58t）の端面を研磨する工場において、成形品の 搬入箇所にある成形品を昇降させるコンベア付近にて、通常なら傾斜 レールを転がってくる成形品が表面の凹凸等により止まり、被災者が レール内に進入したところ、成形品が動き出し、これとコンベアに挟ま れた。	10909	6	50～ 99
2006	5	13 ～ 14	被災者は搬送先において単独で荷下ろし作業を行っていたが、倒れた荷 の下敷きとなっているところを発見された。荷は、コンプレッサーの防 音材を入れた箱が10個載った台車（台車を含む総重量311kg） で、当日この台車を10台下ろす予定であったが、9台目の台車を下ろ す際に被災した。	40301	6	10～ 29
2006	4	11 ～ 12	工場建屋内において、被災者は通路上でベルトの両端をカットする作業 を行っていたところ、通路の両側に積まれたロール状の巻ベルトのうち 2段目の一つ（直径172センチ、幅50センチ、重さ1380キロ、 巻取長さ250メートル）が倒れ、被災者が下敷きとなった。工場は ロール状の巻ベルトの倉庫として使用されており、建屋の通路を挟んで 両側に1段から2段に積まれていた。	10806	5	30～ 49
2006	4	16 ～ 17	被災者がつり上げ荷重2.8トンの橋型クレーンを使用して1.6トン のビル壁用コンクリートを玉掛けし、運搬していたところ、当該荷とク レーンの支柱部分に挟まれた。	10901	6	30～ 49

2006	3	15 ～ 16	下部に脚輪を付けた調整枠を筋かいでつなぎ台車を組立て（布板は組んでいない）、この台車により軽天下地材等（C型鋼；長さ5m、総重量約1.57t）を5名で運搬していた。途中、脚輪のストッパーがかかったためか押せなくなったため、被災者が後方枠の真後ろ荷の下に入り、一斉に押したところ台車が崩れ、被災した。	30201	5	1～9
2006	2	18 ～ 19	資材倉庫内にてフォークリフトを用いて電線ドラムを運搬する作業に従事していた被災者が、フォークリフト脇に倒れているのを発見された。	11601	4	300 ～ 499
2006	1	15 ～ 16	天井クレーン（2.5トン）を用いて板ガラスの入ったパレット（総重量約1トン）を保管場所から作業場所へ運ぶため、被災者は当該パレットに玉掛け用ワイヤロープを掛けていたところ、パレット束と固定されたパレット束との間に挟まれた。	10902	6	50～ 99
2006	2	9 ～ 10	倉庫からパレットに載せてあるオイルの入ったドラム缶（1本が約200kg）をコンテナに積み込むため、被災者はフォークリフトを使用して倉庫からコンテナ付近まで運搬、同僚はそれをコンテナに積み込んでいたが、被災者がドラム缶を運搬してこなくなったため、同僚が倉庫に確認しに行ったところ2段目のパレットでドラム缶に挟まれている被災者を発見した。	40301	5	10～ 29
2005	8	10 ～ 11	河川災害復旧工事現場において、河川の護岸にブロックを据え付ける作業中、ブロックが積まれていた仮置場でブロックの下敷きとなった。	30107	5	1～9
2005	11	7 ～ 8	自社からトラックで運搬して来た荷を降ろす作業中、荷台内に立て掛けてあった梱包ガラス（重さ170kg）を固定していたラッシングベルトを外したところ、梱包ガラスが倒れ、被災者が下敷きとなった。	40301	5	50～ 99
2005	10	16 ～	掘削工事で出た土砂の運搬のため、土砂が入れられたつり紐付きの袋を移動式クレーンでつり上げ、トラックの荷台に袋の中の土砂を移す際に、袋の中に土砂が残ったため、荷台上にいた被災者が土砂を袋から出	30106	6	10～ 29

		17	そうと移動式クレーンのジブを起こすように合図したところ袋が被災者に激突し、被災者がトラックの荷台から墜落した。			
2005	1	10 ～ 11	製品ヤードにおいて、フォークリフトで積み重ねたヒューム管（直径60cm）の歯止めを行うため、ヒューム管からフォークリフトのフォークを外した後、フォークリフトから降りてヒューム管積上げ場所とロット積上げ場所との間に入ったところ、歯止めを行っていないヒューム管が落下し、激突した。	10901	4	30～ 49
2005	12	17 ～ 18	搬入先の事業場構内において、運んできた積荷がフォークリフトで荷降ろしされている様子をトラックの傍に立って見ていたところ、荷が動き出したため、近寄って支えようとしたが支えきれず、そのまま荷台から落ちてきた荷の下敷きとなった。	40301	4	30～ 49
2005	12	16 ～ 17	コンクリート打設作業を行うため、ドラグ・ショベルのバケットにつり下げられたホッパーの開閉バーを持ちコンクリートを地上に落とす作業中、ホッパーと擁壁との間に挟まれた。	30199	6	10～ 29
2005	11	10 ～ 11	加工する材料を材料置き場に取りに行ったところ、2段積みされていた金属かごの上段が荷崩れを起こし、その金属かごに挟まれた。	11301	5	30～ 49
2005	11	17 ～ 18	金庫（重さ340kg）を下ろす作業を作業員3人で行っていたところ、階段の踊り場まで下ろした金庫が、被災者とともに転落した。	80204	4	1～9
2005	8	10 ～ 11	トラックからショーウィンドー用のガラスを取り出し、現場の作業員が台車に載せて運んでいたところ、トラック荷台の梱包された荷が倒れ、被災者が下敷きとなった。	40301	4	30～ 49
2005	10	7 ～ 8	荷降ろし準備のため、トラック荷台のあおりを倒した後、地上で、2分割のあおりを固定するための支柱を荷台より抜き取った際に、支柱にもたれていたスチール機の天板（230×140cm、重さ40kg）が被災者の方に倒れ、下敷きとなった。	40301	5	50～ 99

2005	1	13 ~ 14	車載してきたドラム缶を降ろし、横に寝かせて転がし移動させ、所定位 置の壁際に立てかけたところ、勢い余って壁際にあった圧縮空気配管の プラグ先端がドラム缶の側面に突き刺さり、圧縮空気が流入してドラム 缶の内部圧力が高まり、ドラム缶の底が破裂し飛び上がり、ドラム缶か らプラグを抜こうとしていた被災者に当たった。	80202	15	10~ 29
2005	12	11 ~ 12	梁鉄骨搬入のため、トレーラートラックの荷台からクローラクレーンで 梁鉄骨を荷降ろししている際、梁鉄骨が荷崩れ・落下し、被災者が下敷 きとなった。	30201	4	10~ 29
2005	12	14 ~ 15	機械集材装置により伐木を土場まで運搬する作業中、伐木が被災者に激 突した。	60201	6	1~9
2005	11	10 ~ 11	フレキシブルコンテナ（フレコン）に入った樹脂製ペレット（重さ 400kg）を小分けするために、フォークリフトでフレコンをつり上げ、 フレコン下の取出し口から小分け袋に取り出そうと作業をしていたとこ ろ、フレコンのつり上げ紐の片方の縫い目が切れたため、荷が揺れて被 災者の上に落下した。	10805	4	1~9
2005	12	11 ~ 12	トラックの荷台に風呂桶を3段に積み、製品梱包ビニール上部に溜まった 水抜き作業を荷の最後部に上がって行っていたところ、3.9m下の地面 に転落した。	40301	1	100 ~ 299
2005	11	2 ~ 3	配送センター内において荷下ろし作業中、被災者がトラック荷台のウイ ングを開け、アオリを下ろしたところ、積載していた貨物が落下し、下 敷きとなった。	40301	5	30~ 49
2005	9	10 ~ 11	内装ボード製造ラインにおいて、原料投入作業を行っていたところ、原 料投入ホッパーとフレコンバックとの間に挟まれた。	10901	6	10~ 29
2005	2	11 ~	トレーラートラックに積載した木材を車両積載形トラッククレーンを用 いて、地上に下ろす作業を行っていたところ、当該トラッククレーンが 操作を行っていた被災者側に傾き、当該トラッククレーンの荷台に積載	40301	5	10~ 29

		12	していた木材が滑り落ちて、着地したつり荷との間に挟まれた。			
2005	12	9 ～ 10	天井クレーンを使用して2段重ねに置いてある鋼板コイルの移動作業中、下段に並べたコイルが滑動したため、上段に積んでいたコイル（重さ13トン）が斜め方向に落下、玉掛けの補助をしていた被災者は、落下したコイルと背後に並べていたコイルとの間に挟まれた。	50101	7	30～ 49
2005	6	11 ～ 12	フォークリフトのタイヤがパンクし、交換作業のためホイールのボルトを外していたところ、チューブが破裂し、ホイールが飛散した。	40301	15	50～ 99
2005	5	16 ～ 17	電線等の廃材から取出した銅線を束ねて荷姿（1束の重さ0.3～1トン）にし、はい積みして保管していたところ、はいが崩れ、付近で廃材の加工を行っていた被災者が銅線の下敷きとなった。	11009	5	10～ 29
2005	3	15 ～ 16	倉庫内に積み重ねられていた家畜飼料入りのフレキシブルコンテナ（重さ400kg）のうち、上から3段目までが崩れ落ち、落下した最上段のフレキシブルコンテナと床に置かれていた別のフレキシブルコンテナとの間に挟まれた。	40301	5	100 ～ 299
2004	3	14 ～ 15	休止中の反応器の配管工事のため、足場材を移動式クレーン（つり上げ荷重45 t）で反応器の2階床につり込んでいたところ、つり荷につけてあった介錯ロープ（長さ7.9m）が既に組んであった反応器の足場に引っかかり、荷が傾き足場材が落下し、作業中の被災者に激突した。	30302	4	1～9
2004	1	16 ～ 17	15 tトラックに積んだアルミスクラップを荷卸しする作業中、左側アオリを開けて準備していたところ、荷が崩壊し、最上部に積んでいたアルミスクラップ3束が崩れ落ち、そのうち1束（約600kg）が被災者を直撃した。	40301	5	10～ 29
2004	4	6 ～ 7	コピー用紙を積んだパレットをフォークリフトをバックで旋回移動中、上部の荷が崩れそうになったため、荷を地上に降ろし荷を押して修正しようとしたが支えきれず、荷が当たった。	40301	5	30～ 49
		9				

2004	12	～ 10	鋼板コイルの積み込み作業において、横倒しになった鋼板コイルの下敷きとなった。	40309	5	10～ 29
2004	4	～ 7	コピー用紙を積んだパレットをフォークリフトをバックで旋回移動中、上部の荷が崩れそうになった。そのため、荷を地上に下ろし荷を押して修正しようとしたが支えきれず、荷が倒れて被災者に当たった。	40301	5	30～ 49
2004	4	～ 1	くず米倉庫において、米の入ったフレコンバッグ（重量約1t）をはい積みしていたところ、4段に積み上げたフレコンバッグが崩れ落ち、その下敷きになった。	10109	5	10～ 29
2004	4	23 ～ 24	ペレット入りの1tのフレコン（ナイロン製の袋状のコンテナ）を2段に重ね、その上に25kgの紙袋を重ねてあったが、下段のフレコンが破れ中のペレットが流出し、バランスが崩れて上段のフレコンおよび紙袋が落下、被災者が下敷きとなった。	10805	4	100 ～ 299
2004	12	～ 20	店舗倉庫内に積み上げられた商品の上に登り、トイレトペーパー入りの段ボールを取ろうとしていたところ、足を滑らせ2.42mの高さから墜落した。	80201	1	50～ 99
2004	5	～ 11	工場内に4段積みされた圧縮梱包古紙（1個あたり100cm×170cm×110cm：重さ840kg）をフォークリフト（アタッチメントはクランプ）で2個トラックに運搬したところ、運搬した古紙の隣に積んであった古紙2個が崩れ落ちて、そのうち1個が近くで古紙の仕分け作業を行っていた被災者を直撃した。	80109	4	1～9
2004	11	～ 10	岸壁に接岸された台船上のコンテナ上からもう一つのコンテナに飛び移ろうとしたところ、コンテナクレーンからつり下げられていたスプレッダーに激突し、コンテナ間に墜落した。	50202	1	1～9
2004	7	16 ～ 17	コンクリートセグメントをフォークリフトで製品置場まで運び、いったん仮置きした後、運転席から降りて、運んできたセグメントを2段目に積みむために台木を置く作業をしていたところ、フォークリフトで運んできたセグメント1ピースが倒れその前で作業していた被災者が挟まれた。	10901	5	30～ 49

2004	8	11 ～ 12	トラックを運転して搬入した荷台上のパルプ54個（1個約200kg）を、別 事業場の労働者1名がクランプ式フォークリフトで荷下ろし作業中、ト ラック車体を挟んで荷下ろし側と反対側に、トラックを運転して来た被 災者が倒れているのが発見された。	40301	4	10～ 29
2004	9	16 ～ 17	屋外に保管したファブデッキにはしごで登り、ブルーシートをかけなお す際に、高さ3.15mのファブデッキ上部より墜落した。	11209	1	10～ 29
2004	3	14 ～ 15	フォークリフトにより荷の積み込み作業を行っていたところ、フォーク リフト上の荷が崩れ、一時運転席を離れて、フォークリフトの近くにい た被災者に落下した。	50101	4	1～9
2004	12	11 ～ 12	ドラグ・ショベルの旋回台の上部部品を移動させる作業中、同部品が被 災者の方へ崩れ、停めてあったフォークリフトと旋回台の上部部品の角 との間に挟まれた。	11301	5	30～ 49
2004	8	13 ～ 14	トラックに積まれたドラム缶（重量約200kg）を、荷台からトラック横 に付けたフォークリフトのパレットに載せて降ろす作業を行っていた際 に、いったんパレットに載せたドラム缶の位置を被災者がずらそうとし た時に、そのドラム缶とともに地面に墜落し、ドラム缶の下敷きになっ た。	40301	4	50～ 99
2004	8	10 ～ 11	米菓の入った1個重さ約590kgの製品充填タンク（鉄製タンク）8個を1 t フォークリフトを使って、10 t 大型トラックに積み込んでいたが、7番目 の製品充填タンクの位置が悪かったため、フォークリフトを降り、直そ うと近づいた際、高さ1.2mの荷台から製品充填タンクが落下し、被災者 が下敷きになった。	40301	4	100 ～ 299
2004	2	9 ～ 10	4tダンプトラック解体のため、被災者が橋形クレーンを使用し、解体以 前から荷台前方部に溶接されていた鋼製リング状金具（飛散防止用シー トを取り付けるためのもの）につりチェーンフックを掛け、荷台部を つって、ダンプアップした状態で作業していたところ、鋼製リング状金 具の溶接面が破断、荷台部が下がり、荷台と車体フレームとの間にいた	80109	7	1～9

			被災者が挟まれた。			
2004	8	13 ～ 14	建設会社の資材置場で、被災者が運転していた車両積載形トラッククレーンの荷台後方が脇に野積みされていた鋼管の束に接触し、これを緊結していた鉄帯2カ所のうち1カ所が切れ、被災者がこれを直そうと車から降りたところ、上段の鋼管数束が落下、崩壊したため、車両積載形トラッククレーンと鋼管の間に挟まれて死亡した。	30201	5	1～9
2004	12	3 ～ 4	岸壁に停泊中の貨物船のハッチ内で、コンテナの積込作業を行っていたところ、2段目と3段目のコンテナの間に挟まれた。	50202	7	50～ 99
2004	12	7 ～ 8	荷捌場内で、荷の建築部材（長さ約3m×20本、総重量350kg）を立てて積んであるキャスター付きの鋼製カゴ（幅108cm×奥行110cm×高さ180cm）をトラックに積み込むため移動させようと手前に引いたところ、荷および鋼製カゴが被災者側に倒れ、下敷きとなった。	40301	5	30～ 49
2004	3	8 ～ 9	ビル新築工事現場にて3階床の型枠材料のベニヤ板約70枚を道路上の車両積載形トラッククレーンの荷台からクレーンで外部足場上に荷上げしていたときに荷崩れを起こし、ベニヤ板とともに足場上で荷上げの補助をしていた作業者が2.06m下の軀（く）体2階床上に墜落した。その際、2階床上で作業していた被災者に墜落した作業者と数枚のベニヤ板がぶつかった。	30201	4	1～9
2004	6	14 ～ 15	顧客の集金のため、国道を走行していた被災者の運転する乗用車に、対向車のトラックの積荷の鉄パイプが崩れ落ち、被災者に当たった。	90109	17	1～9
2004	10	7 ～ 8	杭打工事に使用する鋼管ヤットコを加工する為、65 t クローラクレーンを使って格納場所からヤットコを取り出す作業中に、玉掛けを行っていた被災者の背後に積まれていた他のヤットコが突然崩れ、被災者に激突した。	30199	5	50～ 99
			鋼板コイル（約8 t）を倉庫に保管するため、15 t の床上操作式クレーンでコイルを倉庫に搬入し、クレーンでつつた状態でコイルの位置を調整			

2004	3	9 ～ 10	<p>していた際に、このコイルが、3つのコイルで2段にはい付けされたコイルに接触したことにより、はい付けされたコイルのうち下段にあったコイルが、近くでクレーン操作していた被災者の方向に移動し、移動したコイルと背後にあった別のはい付けコイルとの間に挟まれた。</p>	170209	6	1～9
2004	8	9 ～ 10	<p>被災者は作業講台上でトラックの荷台から鋼管を仮置場へ荷卸しするため、トラック荷台上で玉掛け作業を行っていた。玉掛けのため、鋼管の片端をいったんつり上げ、その下に板をかませた上で下ろしたところ、突然鋼管が転がり被災者に激突し、被災者は鋼管とともに荷台に転落し、鋼管の下敷きとなった。</p>	40309	6	1～9
2004	11	0 ～ 1	<p>工事現場の資材置場において、階段状に積まれた電柱（最高高さ約1.7m）の上から転落した。</p>	170201	1	30～ 49
2004	5	19 ～ 20	<p>フォークリフトを用いて普通トラックの荷台から専用パレットに固定されたガラス板約800kgの荷下ろし作業中、当該荷を少し上げたところ、荷が倒れかけたため荷台上でフォークリフト運転士に合図を行っていた被災者が転落し、当該荷の下敷きになった。</p>	10503	5	1～9
2004	8	17 ～ 18	<p>飼料保管倉庫内において、はい付け、はいくずし作業中、倉庫中央部のできた空間で袋詰め飼料（フレコンバック：500～1000Kg）をクレーンで下ろす作業を行っていたところ、はいの一部が崩れ、袋詰め飼料の下敷きになった。</p>	40301	5	30～ 49
2004	9	14 ～ 15	<p>倉庫の清掃中に落下してきた麻袋（米が入っており、約60kg）の下敷きとなった。</p>	40301	5	10～ 29
2004	9	11 ～ 12	<p>フォークリフトを用いて、トラックに積載していた牧草ロールを倉庫に運搬する作業を行っていたところ、3段積み（高さ3.5m）の最上段の牧草ロールが落下し、落下地点付近で掃除をしていた被災者を直撃した。</p>	40301	5	50～ 99
		19	<p>加工仕上げカッター室の巻き取り紙置き場において、巻き取り紙をク</p>			100

2004	6	～ 20	レーンでつり上げ移動させようとして、巻き取り紙と巻き取り紙の間に挟まれた。	10609	7	～ 299
2004	7	14 ～ 15	コンパネ材をトレーラーに積み直す作業で、繊維ロープをほどいていたところ、荷が落下して下敷きになった。	40301	4	10～ 29
2004	10	17 ～ 18	7人で肥料の入ったフレコンバック（重量500kg）のはい（4列×3～4列で4～5段積み）の上部にブルーシートを掛ける作業中、隣接するフレコンバックのはい（2列×4列、4段積み）の一部が崩壊し、地上で作業していた被災者が、その下敷きになった。	40301	5	10～ 29
2004	9	11 ～ 12	天井クレーンでホッパーをつり上げ、車両積載形トラッククレーンの荷台に乗せようとして、荷台にホッパーを降ろそうとした時、つり荷がクランプから外れ被災者を直撃し、その反動で被災者はトラック荷台から転落した。	11209	6	10～ 29
2003	12	10 ～ 11	倉庫内にあった鶏糞肥料（15kg、50袋、3段積み）の一部が崩れ落ちていたので、荷の脇で積み直し作業を行っていたときに、北隣の3段積みの肥料が南側に荷崩れして積み直し作業をしていた者が下敷きになった。	11709	5	1～9
2003	12	15 ～ 16	倉庫内において、同僚3名とトレーラーから木枠で梱包されたガラス板（総質量2t）を天井クレーン（2.8t）により荷卸する作業で、荷台上に自立した木枠の転倒を防止するため、木枠とその対面にある鉄枠の間に角材をはさみ込んで支えていたときに、角材が外れたため木枠が倒れてきて激突され、頭部を木枠と鉄枠との間にはさまれた。	11709	5	10～ 29
2003	11	11 ～ 12	4tトラックにスチール製ドア等を積んでマンション新築工事現場まで運び、荷台（地上約1m）上から地上の現場作業員に荷を1個ずつ手渡す作業をしていたときに、スチール枠が倒れたため荷台から地面に仰向けに転落した。	40301	5	50～ 99
2003	11	9 ～ 10	アパート建設工事現場で、車載型クレーンで石膏ボードの荷卸作業中に、トラックの荷台から石膏ボードが崩れ落ち下敷きになった。	40301	5	10～ 29

2003	11	13 ～ 14	<p>鋳物工場において、鋳型（上型と下型）にアーク溶接で金属プレートを固定して2台の天井クレーンで約1.7mの高さまでつり上げ、その下で木型の固定ボルトを取り外す作業を行っていたときに、約3.8tの鋳型（下型）が落下し下敷きになった。</p>	11002	4	30～ 49
2003	10	10 ～ 11	<p>屋根を補修する他の作業員を屋根に上がらせるため、フォークリフトのアタッチメント（クランプ）で荷（古紙等を縦220cm、横100cm、厚さ110cmに束ねたもの、重さ1020kg）をはさんでその上に作業員を乗せて上昇させ、そのままの状態を運転を止めて荷の下で側壁の補修作業を行っていたときに、荷が突然落下しその下敷きとなった。</p>	150103	4	1～9
2003	10	11 ～ 12	<p>倉庫内で、フォークリフト（最大荷重3t）で牧草（一束の大きさは約40cm四方でその重さが約40kgのものを通常12～24個ごとにビニール等で1パックにしたもの）の運搬を行っていたときに、積み上げられていた牧草が崩れ下敷きになった。</p>	80109	5	1～9
2003	9	10 ～ 11	<p>重さ約300kgの鉄骨1本（角柱状）にビニールシートを巻いてスリング2本で玉掛けし、20t移動式クレーンで建物屋上の部品置場に上げようとしたときに、シートから鉄骨が滑り落ちて下にいた者の頭部を直撃した。</p>	30199	4	30～ 49
2003	8	15 ～ 16	<p>工場の盆休み中に行う定期修理において、蛍光灯を廃棄場所に捨て作業場にもどるため構内（屋外）を歩いていたときに、高さ約4mに積み上げられた石膏ボードが不安定な積み方だったため崩壊し下敷きになった。</p>	30301	5	1～9
2003	7	8 ～ 9	<p>金属スクラップを持ち帰るため、金属スクラップを入れた鉄製の箱を移動式クレーン（つり上げ荷重2.9t）で荷台に積み込む作業中に、つり荷と移動式クレーンの車体との間にはさまれた。</p>	11009	6	1～9
2003	7	17 ～ 18	<p>工場前で屈んで休息していたときに、目の前で運送会社の運転手がフォークリフトでパレット上に2段に積み上げられた箱（幅26×奥行26×高さ46cm、重さ28kg、上段7個下段9個）を2tトラックの荷台に積み替え始め、箱が最後の上下2個になったときに荷崩れが生じたので箱の下段を押さえたところへ、上段の箱が落下してきて後頭部に当たった。</p>	10609	4	1～9

2003	6	13 ～ 14	工場の中2階に置いてあった鉄筋（質量734kg、番線結束）をトラックに積み込むため、天井クレーン（つり上げ荷重2.8t）でつり上げたときに、つり上げた荷の付近にあった鉄筋（質量231kg、番線結束）がバランスをくずして中2階の開口部から1階に落下し、開口部の直下に置いてあった鉄筋を曲げる機械に当ってはね作業中の者の腹部に当たった。	11209	4	30～ 49
2003	6	13 ～ 14	産業廃棄物集積所に使用済み配管を捨てに来て廃材等を整理していたところ、フォークリフト（最大荷重2.4t）が切削屑を入れるための鋼製箱（切削屑は入っておらず空き箱、重さ約300kg）を地上186cmまでフォークを上げて走行してきて、人がいることに気づいてフォークリフトのブレーキを踏んだときに、鋼製箱がフォークから抜け落ちて激突された。	11502	4	300 ～
2003	6	11 ～ 12	20tトレーラーのコンテナに積まれた大理石15枚（282cm×158cm、厚さ2cm、総質量約3.3t）の荷卸し作業で、コンテナ内に立ち上がったときに荷が倒れ、荷とコンテナ内壁との間に胸部をはさまれた。	10409	5	50～ 99
2003	5	15 ～ 16	シールド推進工事において、発進たて抗の8段目支保工の上段の腹起こし材（長さ8m、質量5tのH鋼）をいったん坑内に仮置きし、所定の位置に移動式クレーンで設置するためH鋼に玉掛けして地切りしたとき一端が土止め壁に掛ったので、体重をかけて外そうとしたときに、材がはね上がり激突された。	30110	6	1～9
2003	5	14 ～ 15	工場新築工事において、土手に置いた足場材を使うため結束した4カ所のうち3カ所をカッターで切断し、最後の1カ所を切ったときに束が崩れ、1本15.5kgの足場材35本とともに河川（高さ160cm）に転落して足場材の下敷きとなった。	30201	5	10～ 29
2003	4	11 ～ 12	運搬トラックからフィルム版の入ったキャスター付商品ラックの荷降ろし作業中に、滑り出した商品ラックを地面から支えようとしたが支えきれず、荷台から落下した商品ラックの下敷きになった。	40301	7	10～ 29
		14	港に船で運ばれた骨粉入フレコンバック（高さ1m、幅1m、質量500kg～1t）を倉庫内へ積む作業において、フレコンバックが破れて床面に散			50～

2003	3	～ 15	乱した骨粉を角スコップで清掃していたときに、積み上げられたフレコンバックのうち4段目のフレコンバック1個が落下し、直撃された。	80401	5	99
2003	3	～ 15	上下2段重ねにした部品を入れたプラスチックメッシュコンテナを、進行方向へ引張る者と後からコンテナを押す者の2人組で縞板鋼板の床上を滑らせて移動させているときに、上段コンテナが進行方向へ滑り落ちたため、上段の後部縁に手を掛けてコンテナを後から押していた者が前方向へ倒れ込んで額を床で打った。	11209	2	30～ 49
2003	2	～ 7	石膏ボードをトレーラーに積込んで到着し、石膏ボードを搬出するため、片側のウイングとアオリを開けた途端、石膏ボード約120枚（6kg）が落下し下敷きになった。	40302	4	1～9
2003	2	～ 12	40フィートコンテナから輸入合板を引き出す作業で、2段積みされていた上段の合板の束をフォークリフトで取り出して荷を下げたところ、合板がフォークリフトのつめ上から横に倒れて誘導者に激突した。	50202	5	1～9
2003	1	～ 12	メッキ工場で、長さ10.5mのH鋼（質量250kg）2本をフォークリフトで搬送していたところ、敷地内の側溝の蓋上でH鋼2本が落下し、付近にいた作業者の背中に当たった。	11204	4	10～ 29
2002	11	～ 11	積荷の枕木を降ろす準備のため、トレーラー荷台上の枕木の荷締め具を取外したのち地上に降りてアオリを開けようとしたときに、積載枕木の端部にあった2本（1本当たり質量60kg）がアオリの内側に落下し、その衝撃でアオリが開いて頭に激突した。	40301	4	10～ 29
2002	11	～ 16	外注先へ4tトラックで製品を引き取りに行き、トラックに積み込んだ荷の上で荷締め作業を行っているときに、荷が崩れて荷とともに地上に落下し荷の下敷きになった。	11209	5	1～9
2002	11	～ 18	地面に置いていた鉄函（積み重ねたもので高さ約1.8m）の前を通り抜けるようとしたとき、上積みの鉄函が傾いて脇にあった別の鉄函との間に挟まれた。	80109	5	1～9
			印刷用ロール紙（高さ765mm×直径1085mm、質量405kg）をトラック			

2002	12	16	から自動倉庫の搬入口にフォークリフトで搬入中、印刷用ロール紙の搬入口へのセットが完全では無かったたのでその状況を確認、調整に行ったときに、高さ約1.5mの搬入口から落下した印刷用ロール紙の下敷きになった。	50101	4	10～ 29
2002	11	16	増改築工事において、積載型トラッククレーン（2.93 t）でトラックの荷台から高さ3.7mまで吊上げた鉄筋（直径1.3mm×長さ2,6m×本数27本、質量71.2kg）を2階へ取り込むためブームを旋回させたところ、吊上げていた荷のバランスが崩れて落下し、トラック荷台上で次に運ぶ鉄筋を束ねていた者の頭部に落下した。	30201	4	50～ 99
2002	11	9	10 t 天井クレーンで鋼板の束約5 t を移動するため、玉掛けをして運転手に荷をつり上げさせたところ、荷が振れたため後に積んであった他の鋼板との間に腰部を挟まれた。	11009	7	30～ 49
2002	11	14	産業廃棄物（金属くず等）をフォークリフトで回収してダンプに積みフォークリフトをバックしたところ、フォークリフトの爪（高さ2.55 m）から金属製コンテナ（112 k g）が落下して胸に激突し、激突した衝撃で後ろに転倒した。	150102	4	1～9
2002	9	13	木造住宅新築工事において、2階桁上でクレーンで吊っている床合板を受けようとしたところ、床合板を結束していたナイロンスリングが切れて床合板が落下し、足場の歩み板に当たって方向を変えたため右足に当たった反動で1階へ墜落した。	30202	6	1～9
2002	11	11	圧縮梱包されたポリエステル綿（質量170 k g）を工場から倉庫へフォークリフトで4個ずつ運んで12個を1ブロックとするはい積み作業を行っていて、フォークリフトから降りて次のはい積みの準備をしているときにはい積みしたブロックが崩れてその下敷きになった。	10802	5	50～ 99
2002	11	15	大型トラックのコンテナ内で、2人で縦積みされていた鉄製フェンス（縦150 c m、横2m、厚さ1 c m、重さ70 k g）を1枚ずつ引き出して下ろす作業中に、残り42枚の荷が倒れかかってきて1名が死亡した。	50202	5	50～ 99
			53,833 t のコンテナ船上で、コンテナの積み下ろしのためクレーンで			

2002	10	9 ～ 10	吊った状態のままコンテナとコンテナを固定する「スタッカー」をハンマーで叩いて解除していたところ、「スタッカー」が突然外れて荷振れしたコンテナに接触しそうになったので、後方に逃げたときに約20m下の海面に転落して溺れた。	50202	10	～ 299
2002	8	9 ～ 10	船殻工場において、船台に船舶部品の手すり（2束）を積み込むための玉掛けで、高さ60cmのところの手すりがある鉄板に上がろうとしたときに、手すりの1束（270kg）が倒れ手すりとともに地上に墜落した。	11501	1	～ 299
2002	6	9 ～ 10	停車させた4tトラックのパワーゲート上でコンテナ（約600kg）を降ろす作業中、地上約40cmまで降下させた時点でストッパーを外したところ動き始めたので、とっさに飛び降りて支えようとして下敷きになった。	40301	6	30～ 49
2002	6	8 ～ 9	納品先の倉庫において、10tトラックで運搬してきた木枠に梱包した重さ約1.3tのガラスの荷、合計6個を同倉庫の作業員が運転する天井クレーン（2.8t）で荷下しする作業中、荷台上でラッシングベルトで固定されていた荷を外そうとしてベルトを緩めたときに荷が倒れ、荷台とあおりとの間に挟まれた。	40301	5	1～9
2002	6	16 ～ 17	4tトラックでスクラップ品をスクラップ場まで運搬し荷を括っていたワイヤーをほどいたところ、スクラップ品の一つである車をトラックに載せて運ぶための荷台がトラックの荷台から落下し、その下敷きになった。	80109	4	1～9
2002	6	9 ～ 10	埠頭に接岸した船に舳から鋼管パイプ（12m×0.7m、質量6t）を積込む作業中、巻上げた荷が横にずれて荷と舳の縁の間で玉掛け作業中の者が挟まった。	50202	7	～ 299
2002	5	10 ～ 11	箱型トラックの荷台から荷の入ったコンビラック（質量約710kg）をリフトのストッパーの位置まで移動させて、ゲートを下げた途端にコンビラックがリフト後方に動き落下し、ゲート後方でコンビラックを支えていた者が下敷きになった。	80201	4	10～ 29
		14	国道をトレーラーで走行中、急ブレーキをかけたときに荷台に積んで			10～

2002	4	～	あった鋼材（L字鋼長さ約6m）が反動で前に飛び出して運転席後部を直	40301	6	
		15	撃した。			29
2002	6	～	邸宅の新築工事において、移動式クレーンで重ねあわせた壁面パネル8枚	30202	4	1～9
		9	（質量0.7 t）を作業箇所に吊り上げているときに、壁面パネルが荷崩れ			
			して下の作業者を直撃した。			
2002	6	～	前週から保管されていたコンクリートブロック3段積み（2列、計6個）上	10901	5	10～
		13	にコンクリートブロック2個（4段目、1個250kg）を専用アタッチメント			29
		14	付フォークリフトで積み上げ、4段積みになったブロック（高さ			
			2m25cm）付近でバランス等を確認していたところ、突然4段目から3段			
			目のブロック等が崩れ下敷きになった。			
2002	5	～	埠頭岸壁に接岸していた船の船倉から荷揚げした梱包された合板（縦	170209	4	10～
		9	185×横95×高さ125cm、質量約1.5 t）9梱包（3段×3列）を、岸壁に			29
		10	においてフォークリフトを用いる荷さばき作業と同時並行して検品作業を			
			行っていたところ、3段目の梱包された合板の一つが（高さ約2.7m）落			
			下し検品作業を行っていた者が下敷きになった。			
2002	5	～	定期船の荷下し作業で、長さ9mの鉄筋5束（1束300本、1束の質量	50202	6	1～9
		14	2.68t）を玉掛けし（2点吊り）、能力45tのホイールクレーンを使用して			
		15	ハッチを通過させるため荷を回転させたところ、荷の一端が船内の壁に			
			当たって荷の回転が速くなり、輪木の片付作業を行っていた者が荷をよ			
			けきれずに荷に激突され、荷と船の壁との間に挟まれた。			
2002	4	～	廃プラスチックによる成形材料（樹脂ペレット）製造工場で、製品置き	10805	4	10～
		18	場の2段積みのはい（荷姿コンテナバッグ、質量500kg）のうち、上段の			29
		19	コンテナバッグが荷崩れ（落下）し下敷きとなった。			
2002	3	～	自動車道高架橋耐震補強工事の安全パトロールで橋脚上部の足場上にい	30105	1	30～
		15	たところ、撤去のためチェーンブロックで吊り下げていたコンクリート			49
		16	ブロックが大きく傾いて、足場上から押し出され9.6m下に墜落したも			
			の。			
			福祉施設の新築工事で、屋根材（木毛板、1枚60kg）の荷（12			

2002	3	16 ～ 17	枚、720kg) を屋根に上げる作業中、吊った荷のナイロンスリングが荷にビニールカバーが被せてあったため滑って荷がスリングから抜けて落下し、2名のうち1名が死亡した。	80209	4	30～ 49
2001	8	8 ～ 9	橋梁建設工事において、橋梁上部工内部に設置する円筒型枠(質量約280kg)を移動式クレーンで橋梁上部へ吊り上げているときワイヤーロープが外れ、地上で玉掛け作業をしていた者の頭部を直撃した。	30105	4	100 ～ 299
2001	12	10 ～ 11	廃材置場で、最大積載量3.6tのトラックの荷台上からパチンコ台(重量13.5kg)をトラックの傍に置かれた鋼製コンテナの中へ投下中、パチンコ台が服に引っかかって台とともに投げ入れていたコンテナ上へ転落し、コンテナの縁に取付けられていたピースで腹部を強打した。	150102	1	1～9
2001	12	0 ～ 1	屋外作業場において、3束積上げてある床材の一番下の束の枚数を数えるためフォークリフト(積載荷重3t)で上2つの束(重さ約2.2t)を持ち上げ1.65m離れた地面に置こうとしたところ、下の束の鉄製結束バンドのクランプ部分が抜けたため上の束が不安定になってフォークリフトから落下し、近くにいた者が崩れ落ちた床材の束と地面に置いてあった床材の束との間に胸部を挟まれた。	10401	5	30～ 49
2001	12	16 ～ 17	コンクリート工場で直径500mmのヒューム管の5段目のはい積み作業を行っているときに、高さ約2.7mの4段目のヒューム管から足を踏み外して墜落した。	50101	1	50～ 99
2001	12	5 ～ 6	冷蔵庫内の冷凍食品を取るためピッキングフォークリフト(最大荷重700kg)に乗って高さ約4.35mまで登り、冷凍食品が載っている棚に乗り移るためパレット上に2段積みしてあった冷凍食品(とうもろこし)の箱に足をかけたところ、箱が揺れたためバランスを崩し、コンクリート床に墜落した。	80109	1	30～ 49
2001	11	17 ～ 18	発電機建屋に取付け予定の金属製壁パネル(質量565kg、輸送のため2枚を合わせ1組としたもの)を建屋前の資材置場に立てて仮置したところ、約15分後に倒れ別資材点検のために居た別作業班の作業者が下敷になっ	30302	5	1～9

			た。			
2001	11	16 ～ 17	シリコン粉の入った質量約1tの袋から粉を容器に移し替えるため、2. 5tのクレーンで袋を宙吊りに吊り上げていたとき、袋を吊っていたベルトが切れたため、落下した袋と容器との間に挟まれた。	11101	4	300 ～ 499
2001	11	14 ～ 15	岸壁に接岸した船の船倉から梱包された合板(質量約1. 4t)を荷揚げしていたところ、突然左舷側の合板12梱包が倒壊し、その下敷きになった。	50202	5	1～9
2001	10	13 ～ 14	橋梁架設のための「ガーダー」をつなぎあわせる作業でクレーンで「ガーダー」を吊り上げジョイント部を合せる(目板をバールでこじ開ける)作業を行っていたところ、吊り込んでいたガーダー(質量約4t)が移動したため固定されていたガーダーとの間に頭部をはさまれた。	10901	7	10～ 29
2001	10	13 ～ 14	中学校新築工事現場において、浮き床基礎の梁型枠(長さ4. 5m、重さ80kg)2個を積載型移動式クレーン車(吊り上げ荷重2. 9t)からラフタークレーン(吊り上げ荷重10t)で荷降ろし中、4点に掛けていたワイヤーロープのうち1点がはずれて上段の梁型枠が落下したため梁型枠とともにクレーン車荷台から墜落し荷の下敷きになった。	30202	1	1～9
2001	10	18 ～ 19	屋外製品置場に、コンクリート製梁材をクレーンで吊り降ろし、玉掛用の金具を梁材から取り外す作業中に、自立させてあった梁材が突如倒れてきたため逃げ遅れて梁材と隣接して置かれていた別の梁材との間に下半身を挟まれた。	10901	5	30～ 49
2001	9	11 ～ 12	玄米が入った紙袋(1袋約30kg)のはい付け作業中に約5mのはいが崩れたので、片付けていたときに崩壊せずに残っていた高さ約5mのはいが崩壊し、下敷きになった。	170209	5	30～ 49
2001	8	19 ～ 20	停泊中の船に揚貨装置でドラグ・ショベル(9, 4t)を積み込もうとしたときに、船が重機の重さで約6度傾き既に積み込んでいた移動式クレーンが移動したため岸壁側に積み込んでいたタンクローリーに接触し、タンクローリーも移動してタンクローリーと船の壁との間に挟まれた。	50202	6	30～ 49

2001	8	11 ～ 12	1. 5t積トラックの荷台に積んであったアルミサッシ20枚の荷卸しを行うためロープを解いたところ、荷台に積んであったアルミサッシが倒れ、サッシとブロック塀との間に挟まれた。	11709	5	10～ 29
2001	7	14 ～ 15	建設物装飾用の木型の製造で天井クレーンで木型を移動させていたときにナイロン製の帯で1本吊りをしていたため、途中で木型が落下し顔面に激突し、その反動で倒れ頭部を床に打ちつけた。	10409	4	1～9
2001	7	15 ～ 16	3tトラックにコイル状の鋼材(質量1362kg)をクレーンで積み込み、荷台上で固定の作業をしていたときに鋼材が倒壊してその下敷きになった。	40301	5	10～ 29
2001	7	9 ～ 10	倉庫に「深井戸用水中ポンプ」の入った「鉄製アングルのかご」を積載型移動式クレーンに積込む作業中、積込む「かご」以外の「水中ポンプの入った「かご」(3段に積まれていた)の近くを通行したときに、2段目と3段目の「かご」(各重量約500～700kg)が崩壊し下敷きになった。	30199	5	10～ 29
2001	6	9 ～ 10	事業所内のごみ集積場において一般ごみの入った箱(180cm×90cm×91cm、ベニヤ製)をフォークリフトで持ち上げ、箱の中に入って横付けしたトラックの荷台へごみを移し替えていたとき、箱がフォークリフトのフォークからずり落ちたため箱とともに地上に墜落し後頭部を強打した。	80109	1	1～9
2001	4	13 ～ 14	棒鋼線材工場において、鉄線をドーナツ状に束ねた製品(直径175cm、質量約1t)を片脚橋形クレーンで縦に吊って運搬し他の製品に立て掛けて置いたところ、そのうちの1束が倒れてきてその下敷きとなった。	11001	5	100 ～ 299
2001	5	16 ～ 17	飼料を入れたフレコンバッグ(質量500kg)の上でバッグの上部にある吊り下げ用の取っ手をフォークリフトの爪に掛ける作業をしていたときに、横に積み上げられていた他のフレコンバッグが崩壊し、そのフレコンバッグとフォークリフトの爪に挟まれた。	11709	5	30～ 49
2001	5	15 ～ 16	宅地造成工事において、土留め用PC盤をドラッグショベルで吊り上げて設置しているときに、PC盤が倒れ下敷きになった。	30109	5	10～ 29

2001	4	15 ～ 16	パレット上に積み上げられた石綿袋(1袋約50kg)45袋の最上部分(高さ215cm)からバランスを失って落下した。	10901	1	10～ 29
2001	5	15 ～ 16	接岸された船舶からコンテナを荷揚げ作業中に、船倉内でコンテナ(4段積み)の頂上部から約2.8mのデッキへ上がろうとしたが無理なので再びコンテナ上へ戻るとき、荷と船倉内壁の間隙(幅54cm)から約10m下の船倉へ墜落した。	50202	1	100 ～ 299
2001	3	14 ～ 15	木材を土場まで運搬するため、トラックに木材を積み荷台上で積荷を整えていたときに、2.05mの高さからアスファルト舗装上に墜落した。	30202	1	1～9
2001	4	11 ～ 12	フォークリフトを育苗用床土の入っている袋(重さ0.9t)を運搬するため、2段積みされている袋の上(高さ185cm)に上がり、フォークにロープを掛ける作業をしていたときに転落し、停止していたフォークリフトのフォーク部分に激突したのち床面に落下した。	170209	1	10～ 29
2001	3	14 ～ 15	はい積みされたアルミ灰のコンテナ袋(1袋あたり500kg)が崩れたため、はいの下方にいた者が下敷きになった。	11109	5	30～ 49
2001	3	10 ～ 11	岸壁に係留された船舶の船倉内へ60kg袋入の援助米1万tを揚荷装置で積み込み作業中に、船倉内の高さ3.6mに積上げた米袋の上から船倉床に墜落した。	50202	1	1～9
2001	2	9 ～ 10	岸壁に接岸した船の第2ハッチの船倉内で、建築用材木の束を荷揚げするため材木にスリングを掛けて浮かそうとしたときに、隣の下2段は空段にして6段に積まれていた材木の束が滑り落ち、5、6段目の材木が直撃した。	50201	4	50～ 99
2001	2	9 ～ 10	玉石製造工程において、フォークリフトの爪に運搬用ホッパーを載せて選別機ホッパーに玉石を投入していたところ、選別機のホッパー内の玉石が詰ったのでそれを解くためホッパー内に入り玉石を掻き均していた	10909	7	30～ 49

			ときに運搬用ホッパーが倒れその下敷になった。			
2001	2	8 ～ 9	トラックの荷台に積んだ信号柱(長さ約8.5m、重さ約200kg)7本を降ろす作業中に、信号柱が崩れて、柱とともに1.5m下の地面に転落した。	30301	5	1～9
2000	11	14 ～ 15	6.5tトラックから根固めブロック(500kg)を仮置きヤードに積み降ろすため、ブロックを4個まとめて玉掛けを行っていたとき、2段積みのブロックが安定を失って荷崩れを起こしたため約1m下の地面に荷台から転落したところへブロックが落下してきた。	30111	5	50～ 99
2000	7	16 ～ 17	倉庫内において、積み重ねられたフレコンバックを同じ倉庫内の他の場所に移動する作業でフォークリフトで4段1列のはい付けが終わり、2段目の1個を置くためにフレコンバックを移動していたときに、1列目の3段目と4段目のフレコンバックが倒壊し下敷きになった。	40301	5	30～ 49
2000	6	9 ～ 10	貨物船にスチールコイルをクレーンで積み込む作業中、持ち場を離れ一人で岸壁に置かれていたスチールコイル(重量1.3t)を手で押して移動させようとしたときにコイルが倒れ、他のコイルとの間に腹部を挟まれた。	50202	7	50～ 99
2000	4	7 ～ 8	4tトラックで荷(67枚のガラス、重量1t)を運搬中に、荷崩れを起こしたため、途中の駐車場で荷にロープを掛けて、倒れた荷を立てようと10tトラックで引張ったときに、荷台上で荷の転倒を防ぐため作業していた者が荷の下敷きになった。	40301	7	10～ 29
2000	4	11 ～ 12	海上コンテナから木製部材(板状)の束をフォークリフトで積み出していたときに、コンテナ付近に立っていた者が倒れてきた荷に腰から下部を挟まれた。	50201	6	10～ 29
2000	1	11 ～ 12	10.5tトラックにフォークリフトで原木を積み込み、原木をワイヤーロープで荷掛けするため原木の上に上がっていて高さ約3.5mの位置から地上に転落したところに原木1本(重量：150kgから200kg)が落下した。	10409	6	10～ 29

2000	1	8 ～ 9	倉庫に運び込まれたトラックのコンテナの右扉を開いたところ、荷造りされたパーム繊維の束、1束(質量150kg)が落下して顔面を直撃した。	11709	4	10～ 29
2000	11	16 ～ 17	フォークリフトで合板(180枚)の束を運搬中にパレットが割れて束が自立した状態で床上に落下したので、片づけるために束に近づいたところ、束が崩れてきたために、転倒し床に後頭部を打ちつけた。	10402	5	10～ 29
2000	8	16 ～ 17	4tトラックに積み込んだベニヤ廃材の束2つを固定するためベニヤ廃材の上に乗リワイヤーを巻き取り工具で締め付けていたときに、高さ約2.4mの荷の上から転落した。	40301	1	10～ 29
2000	7	15 ～ 16	コイルをクレーンで吊って移動させたときに、別のコイルと一緒に吊り上がりこのコイルが落下して撃突した。	11209	4	10～ 29
2000	11	6 ～ 7	製紙工場内において、20尺パルパーの粕取り作業に従事していたときに、2列4段積に仮置きしてあったダンボール古紙のうち上2段が地上へ落下し、それに激突されるとともに古紙とパルパー壁との間に挟まれた。	10601	5	50～ 99
2000	11	9 ～ 10	船で運ばれてきた積荷の合板を荷揚げするため船倉内で玉掛けを行っていたところ、積み荷が崩れて頭部を強打した。	50202	5	30～ 49
2000	6	15 ～ 16	3. 5tトラックで取引先会社に到着し、トラック荷台にフォークリフトで運搬してきた合板450枚を荷台にのせる作業の準備として合板の下に盤木3本を敷く作業を行っていたときに、合板450枚がフォークリフトにより荷台の盤木上に置かれた直後に合板が崩れ、荷台上から道路上に転落して落ちてきた合板の下敷きとなった。	40301	5	30～ 49
2000	7	9 ～ 10	工場内の故紙はい積み置場で、積み荷の傾きを直しているときに、ばらけた故紙を集積するための清掃を行っていた者を3段目のはい積み(約480キロ)が崩れ落ち直撃した。	10601	5	10～ 29
		9	倉庫内で「ツキ板」の検品作業を行っていたときに、ツキ板のはいが、			

2000	4	～	高さ4m・奥行2mに渡って崩壊し、1名は床に頭部を強打し死亡、他の10名は負傷した。	80109	5	1～9
2000	12	22～23	直径1.3mのコイル状に束ねられた鉄線5把(1把の質量約1t)をラムフォークリフトで移動させる作業で、5把目の鉄線コイルを置き場近くまで運搬してきて鉄線コイルを置く台の位置を調整していたときに、先に運搬してきた鉄線コイルのうち1把が倒れてきてその下敷きとなった。	11009	5	300～
2000	7	7～8	大型トラック(15t)の荷台から鉄製の電線ドラムを降ろすためトラックの荷台に上り電線ドラムを固定していたレバブロックを外していたところ、突然、電線ドラムが動き出しともにトラック荷台から転落した。	40301	1	30～49
2000	4	8～9	積載形トラッククレーン(吊り上げ荷重2.93t)の荷台に積み込んでいた産業廃棄物が入っているゴミバケット(総重量推定2t)をクレーンで吊り上げて脇のダンプトラックの荷台に移し替える作業でダンプトラックのあおりにバケットを立て掛けて仮置きしたのち玉掛チェーンを架け替えるため荷台に乗ったときに、バケットがあおりから滑落し激突した。	150102	6	1～9
2000	11	15～16	船倉内において、ドリルパイプ(長さ約9メートル、質量約170kg)1499本を積み付けてワイヤーロープで固縛中に、崩れてきたドリルパイプの下敷きになった。	50209	5	10～29
2000	5	23～24	ドラグショベルで坑内路盤用の敷き鉄板(質量1.6トン)を吊り上げたところ、泥が付着していたのでオペレーターが鉄板を上下に動かし泥を落とそうとしていたときに、スコップで泥を落としに近づいたところ、吊具のフックから鉄板がはずれて倒れてきて鉄板と側壁との間にはさまれた。	30102	6	100～299
2000	1	2～3	本船に積むフラットコンテナをトレーラーからガントリークレーンで吊り上げたところ、フラットコンテナの四隅の取付部分のうち船首側の二箇所のみがロックされた状態で吊り上げられたため、フラットコンテナがトレーラーの前方に引きずられて落下し、トレーラーの運転席後部を直撃した。	50202	4	100～299
			10tトラックで圧延ロール(2.794t)4本を運搬中、1本のロールのすわり			

2000	2	0 ～ 1	が悪くなったためトラックの左前後輪を縁石に乗り上げた状態で停車し、ロールを固定するためレバブロックのレバーを締め直していたときにロールが落下して下敷きになった。	40301	4	10～ 29
2000	3	18 ～ 19	倉庫内で翌日使用する材料をフォークリフトで運び出そうとしたが荷の間隔が狭いので、3. 3m程度に積み上げられた古畳に上り荷を動かそうとしたときに古畳が倒壊し、下敷きになった。	11709	5	1～9
2000	2	14 ～ 15	高さ約30mの立木を伐木する作業で、直径約40cm、長さ約14mの枝を移動式クレーンで吊りながらチェーンソーで切断したときに、切断した枝が振れて背後から頸部に当たった。	60201	6	1～9
2000	7	16 ～ 17	道路改良工事現場のU字溝布設作業において、ドラグショベル(機体重 量：12t)のバケットに取り付けたフックに専用の吊り具で玉掛けして吊り上げ仮置きしようとしたときに、吊り具からU字溝がずり落ち、付近で型枠製作作業をしていた者の腰部に激突した。	30106	6	10～ 29
2000	6	17 ～ 18	備蓄米を保管する定温倉庫でパレット5段積み(1パレット30kg米袋6段42袋)をはい積みしていたところ崩壊したため、応援を入れて3名で片付けていたときに、崩壊した荷のとなりのパレットが再度崩壊し、その下で片付けをしていた者が生埋めとなった。	40301	5	50～ 99
2000	1	9 ～ 10	被災者は、朝6時40分に車庫を出発し1件目の配達を終え2件目の配達先にて9時10分よりロール製品の納品のためフォークリフトをトラックに横付けし、製品をトラックからパレットへ移動させていたときに、バランスを崩して荷台より転落し、その直後落下したロールの下敷になった。	40301	6	30～ 49
2000	5	7 ～ 8	道路拡幅工事現場に伐倒木を受け取りに行き伐倒木の積み込み作業を行っているときに、荷台から伐倒木と共に墜落し伐倒木の下敷きとなった。	150102	4	30～ 49
1999	10	14 ～ 15	2tトラックの荷台で引っ掛け工具で荷をずらそうとしたところ、引っ掛け工具が外れたために荷台から転落し頭部を打った。	11204	1	10～ 29

1999	12	17 ～ 18	河川工事の地盤改良で発生した汚泥を水槽(高さ1.9m)6個に入れて台船で上流に運搬したのち、水門の下を通過して戻る際に台船上の水槽の最上部が水門の下部に接触したため、水槽が後方に移動し、水槽と水槽の間にいた者が挟まれた。	30107	7	10～ 29
1999	12	17 ～ 18	製品の一部の材料であるコネクター(重さ750gのL鋼)を取り出すため、コネクターを入れてあるセットテナ(コネクターを1200枚入れたメッシュの金網状の箱)の3段積みが一番下のセットテナの扉を開けたところ、扉の左右の中間が座屈して崩壊し、下敷きになった。	11209	5	50～ 99
1999	9	0 ～ 1	スクラップされるトラック及び普通乗用車のシャーシが積載されているトラックを誘導中に、荷が崩れ下敷きになった。	11009	5	1～9
1999	9	9 ～ 10	箱型トレーラーの荷台にプラスチックシートを打ち抜いたスクラップのロール状の荷(1個推定22kg)を1つのパレットに6個4段積んだものを奥行き方向に8列積み、重機の爪で押し込もうとしたところ一番手前の荷が12個が崩れて荷台上にいた者に激突した。	80109	5	30～ 49
1999	8	11 ～ 12	大改修工事に使用する護岸ブロック(重さ180kg)をフォークリフトで2重6段(2メートル超)に積み重ねたのち、補助者がつり補助用具(鉄棒)をブロックからはずそうと隣の同じように積まれたところを登って作業をしていたときに、その部分が崩れブロックの下敷きになった。	10901	5	10～ 29
1999	6	7 ～ 8	事業場内のトラックターミナルにおいて、同僚と清涼飲料水30ケース(約400kg)を積んだキャスター付台車をトラック荷台への積込んでいるときに、台車が倒れてきて激突された。	40302	6	30～ 49
1999	8	7 ～ 8	空コンテナ(重さ約1.5t)を清掃するためサイドシフト付カウンタバランスフォークリフト(最大荷重12.5t)で移動作業中、移動させるコンテナの上面左後部が左隣に2段積みしていたコンテナの上段底面右後部に接触していることに気付かないままリフトアップしながら後退させたため、上段のコンテナ落下し、清掃作業をしていた者がコンテナの下敷きになった。	50101	4	30～ 49

1999	8	17 ～ 18	小麦保管倉庫内において小麦用コンテナバック(重量約1t)が5段高さ約4メートルに積み上げられたところから南側に1. 2メートル離れた箇所では床面にビニールシートを敷く作業をしていたところ、コンテナバックが突然倒れ、下敷きになった。	170209	5	50～ 99
1999	8	17 ～ 18	廃土を鉄製のカゴに入れて運び、所定の投棄場所で廃棄するためカゴを傾けたが流れ出なかったため、別の方法(クレーンでカゴを吊り上げる。)を行うため段取りを行っていたところ、突然カゴが倒れたため、側にいた者が下敷きになった。	30105	5	10～ 29
1999	8	14 ～ 15	埠頭に接岸した船から木材を移動式クレーン(つり上げ荷重50トン)で降ろす作業において、木材24本を一本吊りで吊り上げようとしたときに、木材の一本が中抜けして、船倉内で作業していた者の背中に激突した。	50202	4	300 ～ 499
1999	7	14 ～ 15	小型移動式クレーンの荷台からベニヤ製型枠用パネルの束を降ろすため、玉掛けの作業をしていたときに積載してあった型枠用パネルの束が倒壊してきて、その下敷きになった。	30209	5	1～9
1999	6	10 ～ 11	トラッククレーンに荷積作業中、2本吊りしたパイプサポートの束がバランスを崩して、激突された。	30209	6	10～ 29
1999	5	0 ～ 1	廃品置場で空缶の分別作業を行っていたところ、高さ1. 1mの所に積んでいた電化製品を入れた重さ460kgの袋が崩れ、下敷きになった。	80109	5	10～ 29
1999	5	16 ～ 17	排水処理施設の解体撤去作業において、タンクの上半分を溶断し、移動式クレーンで吊上げて地切りした直後に荷が振れ、荷と単管手すりとの間に挟まれた。	30302	6	1～9
1999	4	9 ～ 10	冷凍庫内で空のパレットに20個の荷を積み込んでいるときに、四段重ねのパレットが荷崩れを起こして下敷きになった。	40301	5	10～ 29
		10	2階フロアー増設のためのユニットをトラッククレーンで吊り上げ、ジョ			

1999	4	～ 11	イント部を2階既設フロアーに差し込むために増設ユニットに乗ってチェインブロックのフックを掛けようとしたときに、約4.4m下の1階コンクリート床に墜落した。	30302	1	1～9
1999	4	～ 10	原料の受入設備で、フレコンバッグ入りの原料をホッパーへ投入するためテルハでフレコンバッグを吊り上げていたときに、フレコンバッグの繊維ベルトが切断したためフレコンバッグの下敷きとなった。	10904	4	50～ 99
1999	4	～ 11	フォークリフトで梱包した合板をはい積みしてフォークリフトを後進させようとしたときに、最上部の合板が崩壊して運転席に落下し、ヘッドガードが押しつぶされた。	50101	5	50～ 99
1999	4	～ 7	配送先で、4トントラックの荷台から2段積みの荷をフォークリフトで降ろするために、荷を荷台の端に引き寄せていたときに、荷とともに約1メートル下の地面に落下しその下敷きになった。	40301	4	30～ 49
1999	3	～ 11	10 ロール状の製品をトラックから荷受けするため、高さ約3mに積み上げていた空パレット24枚のうち上部2枚をフォークリフトで地上に降ろし、そのうちの1枚を手作業で横へ移動していたときに、積み上げられた残りのパレットが崩れ落ちてきて、頭部に激突した。	10805	5	10～ 29
1999	2	～ 17	16 1. 下水道工事において、作業終了時にトラッククレーンの荷台に残ったヒューム管二本を隣接する資材置き場に戻すことになり、吊り金具等を荷台に置いた後トラッククレーンを前進させたときに、荷台から落下したヒューム管の下敷きになった。	30110	4	1～9
1999	2	～ 12	11 資材置場で積層材を降ろすため、約2.5mの高さに積み重ねてある積層材に足を掛けてよじ登り、上部の積層材を引っ張り降ろそうとしたときに体のバランスを崩して積み上げてある積層材数枚とともに約2m下の地面に転落した。	10409	1	1～9
1999	2	～ 11	10 マンション駐車場増設工事において、ドラグショベルでコンクリート製L字擁壁を設置箇所に吊込み人力で微調整していたところ、擁壁が転倒したため、側溝用掘削壁面とL字擁壁との間に挟まれた。	30109	7	1～9

1999	1	11 ～ 12	2階建てユニット住宅の2階フローリング床下に敷く防音材を移動式クレーンで吊り上げる作業で2階天井部に仮止めしていたランバー材2本のうち1本をずらして2階天井のランバー材間から入れているときに、荷がランバー材に触れたため荷とともに1階まで落下した。	30202	4	300 ～
------	---	---------------	---	-------	---	----------

2021年、2020年の事例は新型コロナ罹患を含む。2011年の事例は東日本大震災による労働災害を含まない。

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.html(職場のあんぜんサイト)

[小起因物別の死亡災害事例（1999-2021年）](#)に戻る。

(参考) [労働災害の分類の概要](#)